

中期経営計画2025

～事業計画及び成長可能性に関する事項～



2025年6月23日
株式会社Smile Holdings
証券コード:7084

中期経営計画2025 目次

Smile Holdings

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント-私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域:認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域:プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

7. 会社基本情報

- 会社概要
- ビジネスモデル&収益構造
- サービス概要 - 認可保育グループ
- サービス概要 - プレミアム教育グループ
- サービス概要 - 国際教育領域
- サービス概要 - 産後ケア領域
- 市場環境 - 国内教育領域(幼児教育事業)
- 市場環境 - 産後ケア領域
- 重要指標
- 競争力 - 非認知能力とは
- 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
- 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
- 競争力 - 多彩な教育プログラム
- 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
- 投資計画
- リスク情報

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント-私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域：認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域：プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

7. 会社基本情報

- 会社概要
- ビジネスモデル&収益構造
- サービス概要 - 認可保育グループ
- サービス概要 - プレミアム教育グループ
- サービス概要 - 国際教育領域
- サービス概要 - 産後ケア領域
- 市場環境 - 国内教育領域(幼児教育事業)
- 市場環境 - 産後ケア領域
- 重要指標
- 競争力 - 非認知能力とは
- 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
- 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
- 競争力 - 多彩な教育プログラム
- 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
- 投資計画
- リスク情報

新パーパス



新パーパス

「家族の幸せ」と「個人の幸せ」が寄り添える社会へ

我々は2008年12月の創業以来、延べ4万人以上のお子様をお預かりし、幼児教育サービスを提供して参りました。
次世代を担う子どもたちを育成する保育と幼児教育を基盤に、

その子どもたちとご家族の皆様にお役にたてる総合パーソナルケアサービスの会社

として取り組んで参ります。

新ステートメント

「あなた」と「家族」の幸せが重なる場所に、私たちはいます

たとえば子供たちには、好奇心のままに夢中になれる楽しさを
ママやパパには、学びたいこと、磨きたいことに使える貴重な時間を
家族には、その成長をそばで見守れるという喜びを

幼児教育や保育、産後ケア、ファミリーコンシェルジュをはじめ、
私たちは、あらゆるパーソナルケアサービス事業を通じて、
「個人の幸せ」と「家族の幸せ」が寄り添える社会を目指していきます

我々が提供する「幸せ」の定義

我々が提供する、幸せの定義を考えてみました

幸せとは

子供でも大人でも、

好奇心をくすぐられるものがあること

何かに夢中になって楽しめること

昨日より今日の、成長を確かに感じられること

自分が、ありたい自分でいられること

そして、大切な家族が、夢中になって満たされている姿やその成長を、

すぐそばで、あたたかく見守ることができること

2025年1月1日より新社名となりました

株式会社Kids Smile Holdings



Smile Holdings

株式会社Kids Smile Project



Smile Project

新パーパス “「家族の幸せ」と「個人の幸せ」が寄り添える社会へ”を実現すべく、
事業領域拡大に取り組んで参ります

中期経営計画2025 目次

Smile Holdings

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント 私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域：認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域：プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

7. 会社基本情報

- 会社概要
- ビジネスモデル&収益構造
- サービス概要 - 認可保育グループ
- サービス概要 - プレミアム教育グループ
- サービス概要 - 国際教育領域
- サービス概要 - 産後ケア領域
- 市場環境 - 国内教育領域（幼児教育事業）
- 市場環境 - 産後ケア領域
- 重要指標
- 競争力 - 非認知能力とは
- 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
- 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
- 競争力 - 多彩な教育プログラム
- 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
- 投資計画
- リスク情報

2-1. これまでの歩み - 財務指標の振り返り

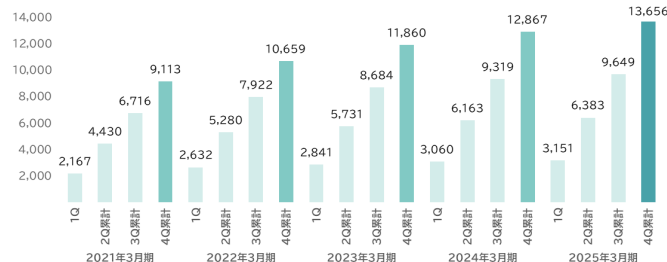
Smile Holdings

上場以来、每期財務指標は過去最高を更新



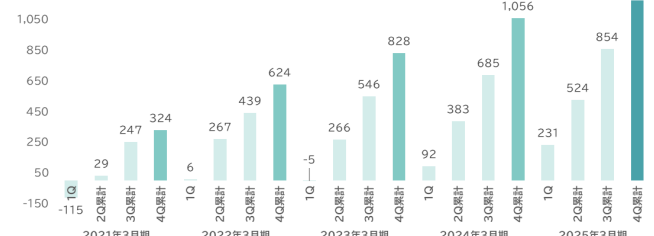
(単位:百万円)

売上高



過去
最高

EBITDA



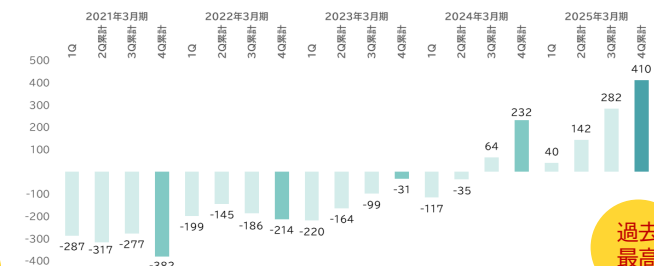
過去
最高

売上総利益



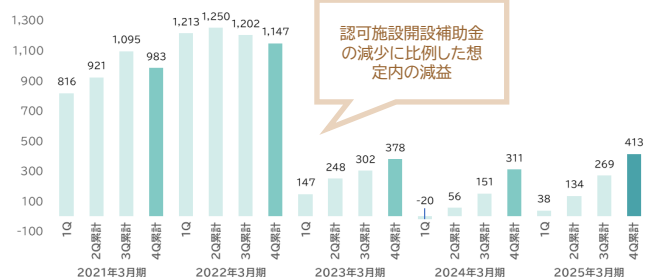
過去
最高

営業利益



過去
最高

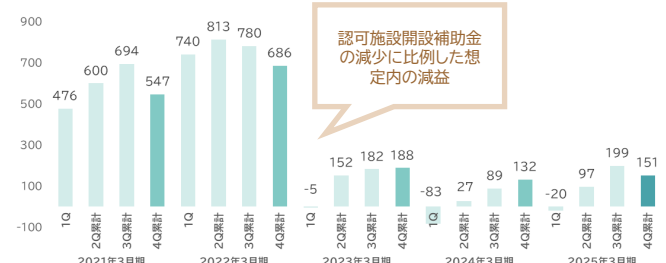
経常利益



認可施設開設補助金
の減少に比例した想
定内の減益

過去
最高

当期純利益



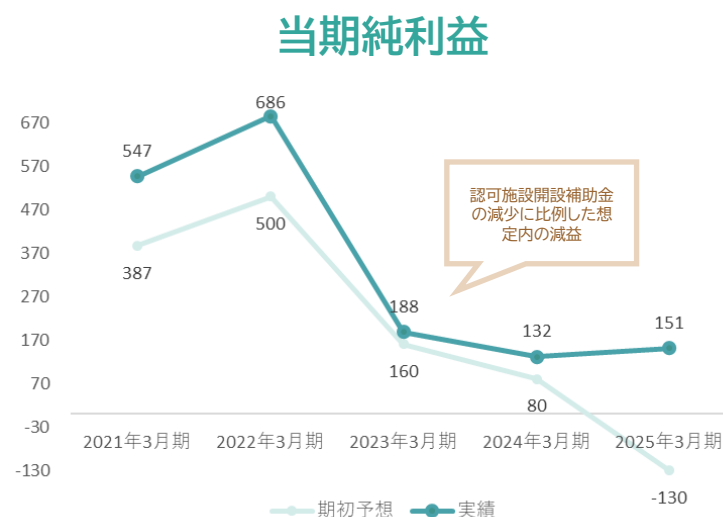
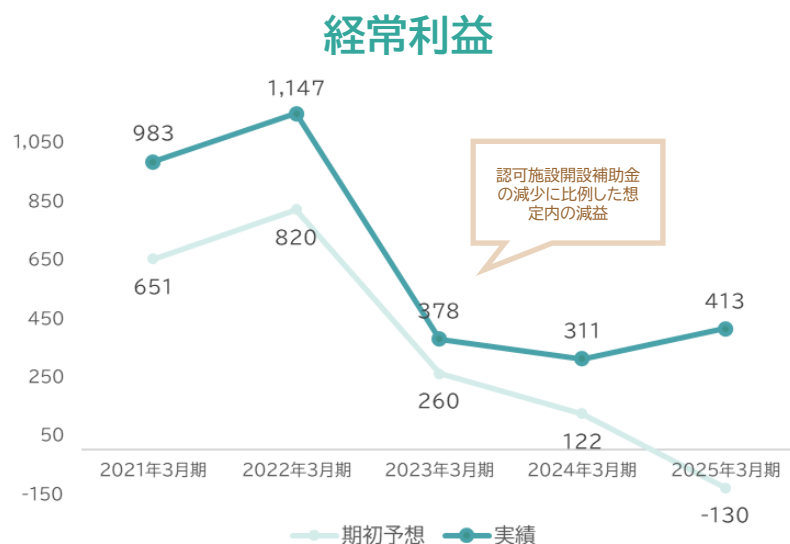
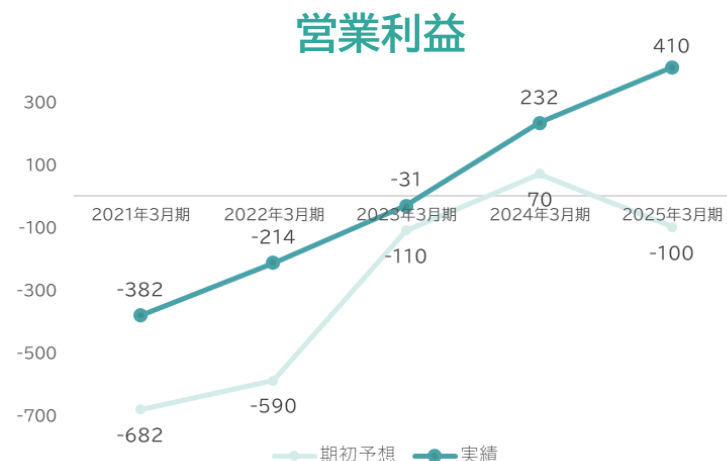
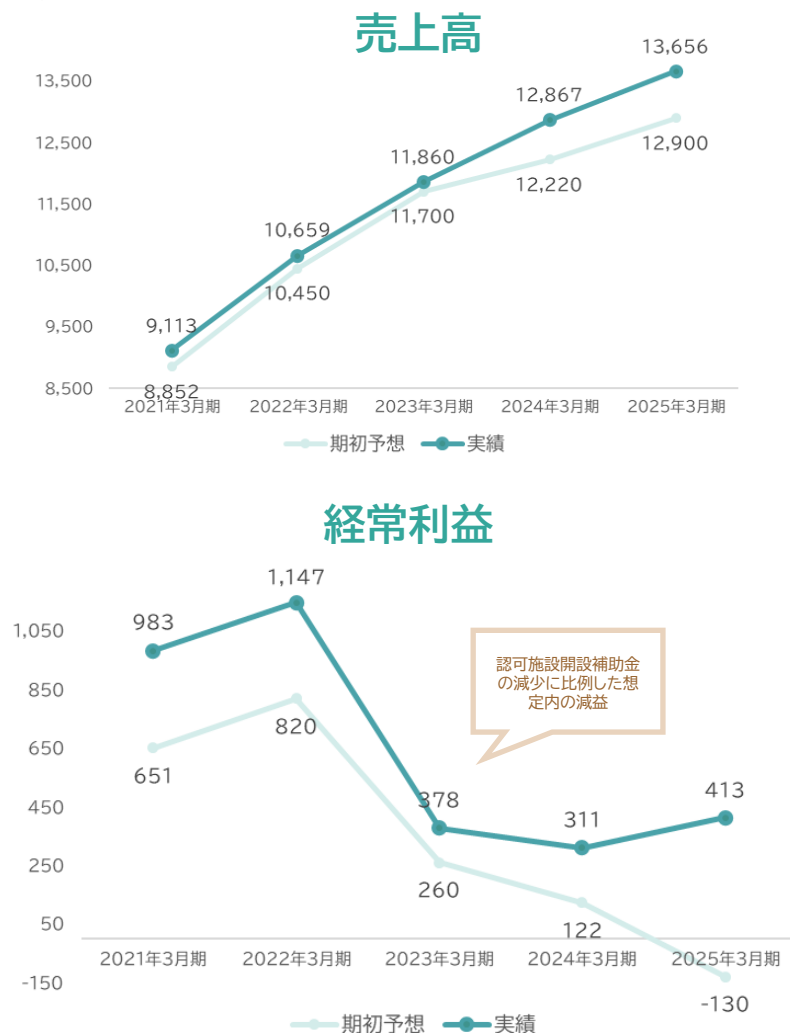
認可施設開設補助金
の減少に比例した想
定内の減益

2-2. これまでの歩み – 期初予想に対する進捗

Smile Holdings

上場以来、每期期初予想を達成

(単位:百万円)



2-3. これまでの歩み – 現中期経営計画に対する進捗

Smile Holdings

現中期経営計画の売上高1年、営業利益2年前倒し達成！

既存事業の成長および大型設備投資の実施時期の変更等により、収益性が向上

		実績値	現中期経営計画(2024年6月発表)					
(百万円)		2025年3月期 実績	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期	2030年3月期
売上高		13,656	12,900	13,580	15,290	17,130	19,400	22,000
	国内教育領域 認可保育グループ	11,845	11,120	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
	プレミアム教育グループ	1,679	1,630	1,630	1,750	1,850	1,900	1,900
	国際教育領域	132	90	250	440	680	900	1,000
	産後ケア領域	0	60	600	2,000	3,500	5,500	8,000
EBITDA		1,171	730	1,100	1,190	1,920	3,580	3,320
営業利益		410	-100	220	350	884	1,450	2,100

※2026年3月期～2029年3月期のEBITDA予想値は今回より掲載

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント 私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域：認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域：プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

7. 会社基本情報

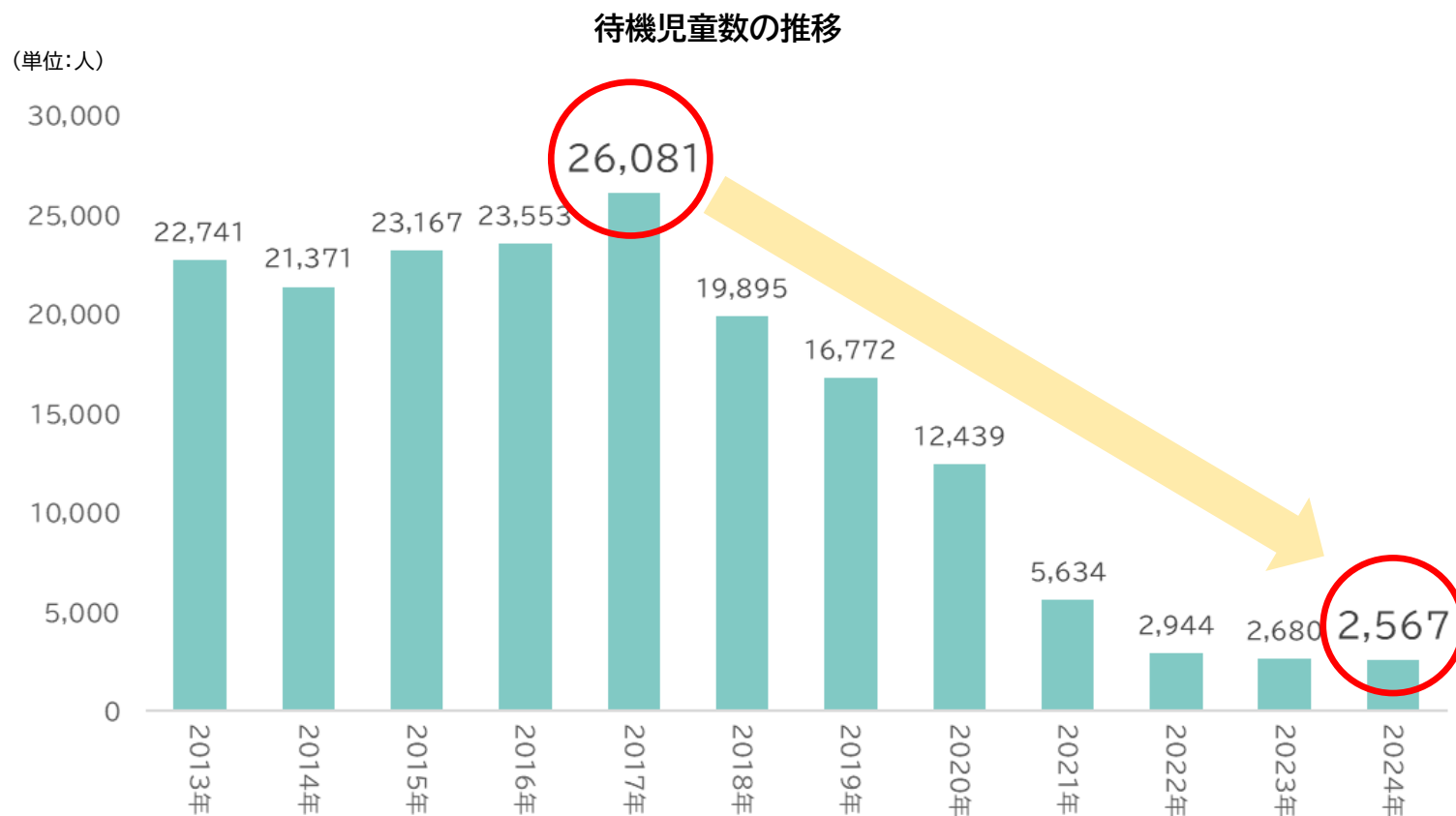
- 会社概要
- ビジネスモデル&収益構造
- サービス概要 - 認可保育グループ
- サービス概要 - プレミアム教育グループ
- サービス概要 - 国際教育領域
- サービス概要 - 産後ケア領域
- 市場環境 - 国内教育領域（幼児教育事業）
- 市場環境 - 産後ケア領域
- 重要指標
- 競争力 - 非認知能力とは
- 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
- 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
- 競争力 - 多彩な教育プログラム
- 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
- 投資計画
- リスク情報

3-1. 外部環境の変化 – 待機児童問題の解消

待機児童問題は概ね解消へ

出所:こども家庭庁待機児童数調査

こども家庭庁による待機児童数調査によると、2024年4月1日時点の待機児童数は2,567人(対前年▲113人)。待機児童数調査開始以来、5年連続で最少。待機児童数がピークであった2017年の26,081人から7年間で23,514人減少し、約1/10以下にまで減少



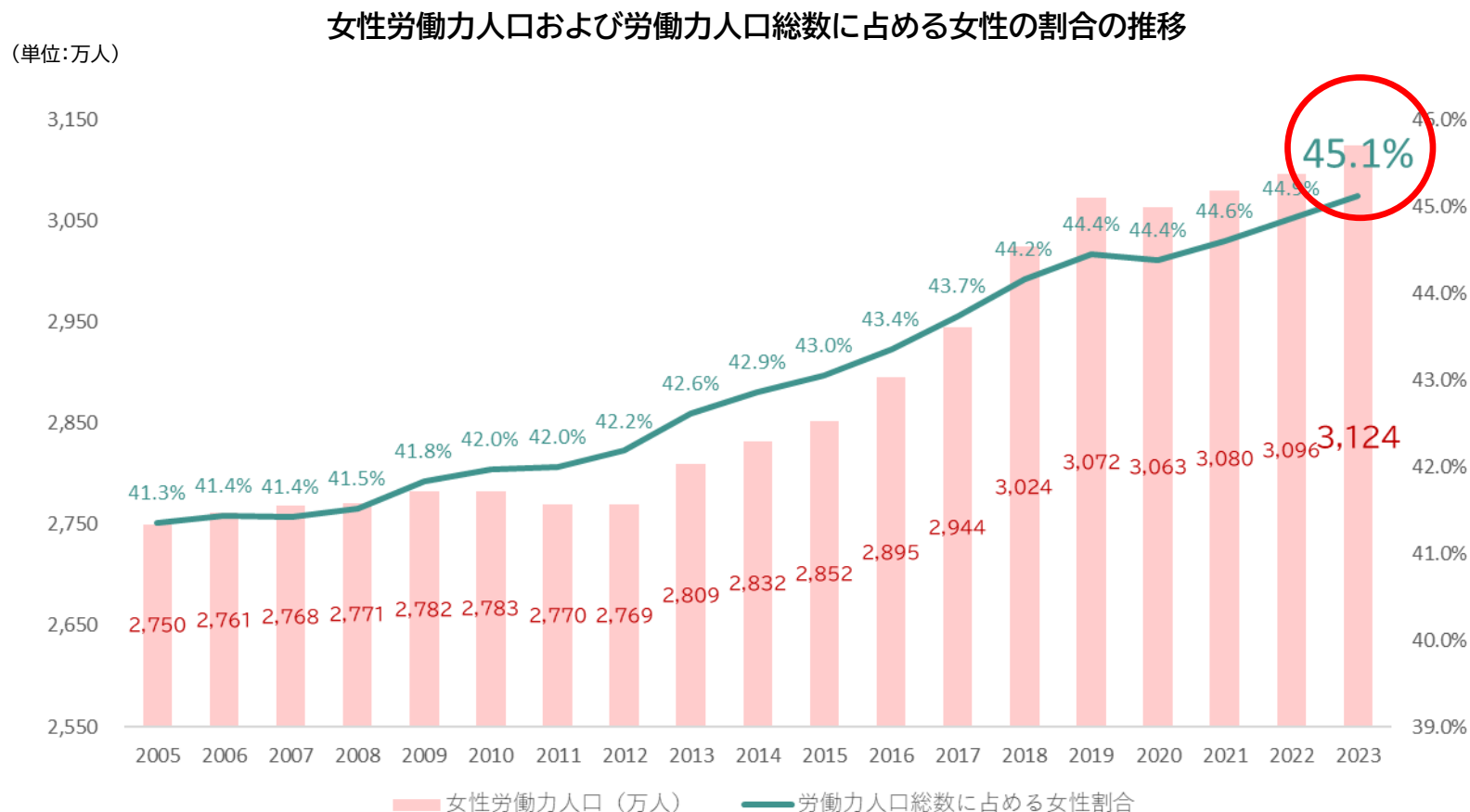
3-2. 外部環境の変化 – 女性の労働力人口増加

Smile Holdings

女性の労働力人口は引き続き上昇トレンド

出所:総務省 労働力調査

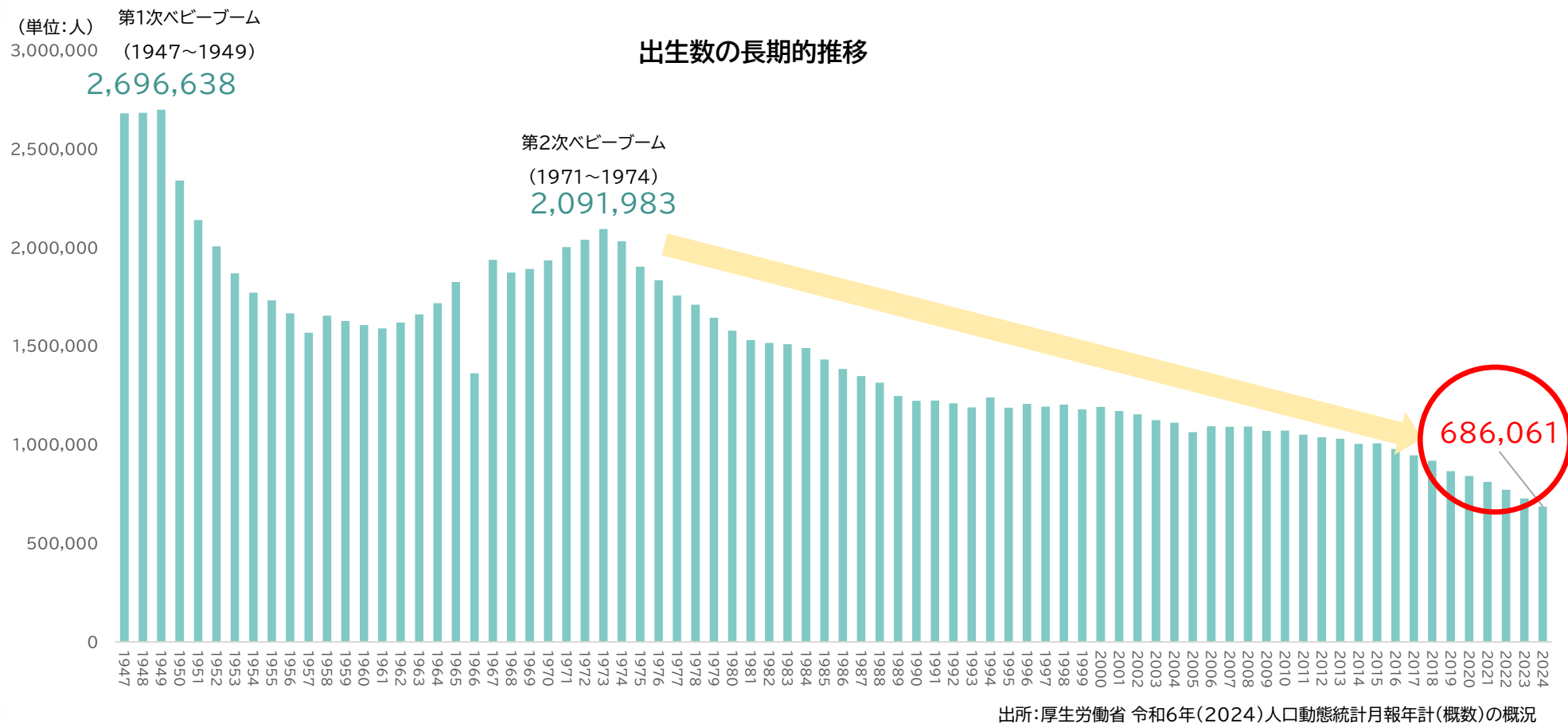
総務省「労働力調査」によると、女性の労働力人口は2023年時点で3,124万人と前年に比べ28万人増加



3-3. 外部環境の変化 – 少子化問題の深刻化

少子化問題の深刻化に解決の目途はつかず

厚生労働省の人口動態統計によると、2024年の出生数は68万6,061人と前年の72万7,288人より4万1,227人減少。1973年のピークを過ぎた後、一貫して下落傾向が続く



～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント 私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域：認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域：プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

7. 会社基本情報

- 会社概要
- ビジネスモデル&収益構造
- サービス概要 - 認可保育グループ
- サービス概要 - プレミアム教育グループ
- サービス概要 - 国際教育領域
- サービス概要 - 産後ケア領域
- 市場環境 - 国内教育領域(幼児教育事業)
- 市場環境 - 産後ケア領域
- 重要指標
- 競争力 - 非認知能力とは
- 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
- 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
- 競争力 - 多彩な教育プログラム
- 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
- 投資計画
- リスク情報

好業績の今こそ新たな社会課題の解決にむけた事業領域拡大の好機

絶好調な業績

- 財務指標は**每期過去最高を更新**
- **每期、期初予想を上回る実績を記録**
- 盤石なビジネスモデルと**財務体質**
- 中期経営計画を**1年～2年前倒し達成する成長スピード**

社会課題の変化

我々の社会課題に対する認識

女性への負担が
大きい社会の仕
組みの改善

少子化の打開

この新たな社会課題を解決し**個人と家族の幸せが寄りそえる社会**の実現ため、今までの事業経験・ノウハウを生かしながら事業領域を拡大

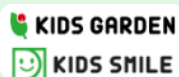
飛躍的成長を目指す！

Smile Holdingが取り組む4領域

4領域(ファミリーサポート領域は調査・検討中)

安定収益基盤

国内教育領域



認可保育園



プレップスクール&
幼児教室

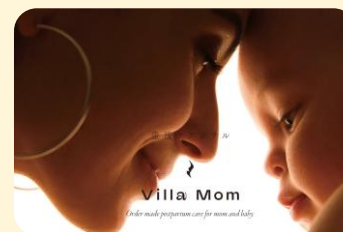


アフタースクール



スイミングスクール

産後ケア領域



第一弾 "Villa Mom 東京・有明"
2026年6月開業

未来の
中核事業

成長ドライバー

国際教育領域



グローバルスクール海外留学支援



海外園運営



ネイチャーツーリズム



旅行業
(第1種旅行業登録)

ファミリーサポート領域

建築デザイン



- ・コンセプト提案
- ・建築設計
- ・建築プロジェクト管理



- ・こどもの遊び場コンサルティング
- ・イベント運営

家族が集う空間づくりへ

未来への
種まき

調査検討中

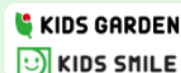
4-3. Smile Holdingsの挑戦 – 各領域の成長戦略サマリー

Smile Holdings

幼児教育単一事業から、4領域による新たな成長戦略

国内教育領域

認可



認可保育園

- 認可園70施設
- 安定収益を確保する事業基盤

プレミアム



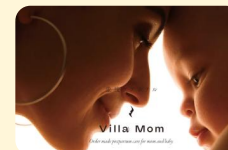
プレップスクール&幼児教室



アフタースクール スイミングスクール

- 既存8施設の安定運営
- 麻布台ヒルズに新園開設(25年冬)
- スペシャルカスタマー向けの高付加価値な幼児教育を提供

産後ケア領域



産後ケアホテル

- 2026年6月に”産後ケアホテル Villa Mom(ヴィラママ) 東京・有明”を開業。
- 幼児教育施設の運営を通して、のべ4万人以上のお子様とご家族と向き合ってきた経験を活かし、機微に富むきめ細やかなサービスを提供
- 2施設目以降開発のため、全国都市部の優良物件を選別および交渉進行中
- 施設開発においてパートナー企業との連携を深め、施設開設を加速も検討
- 中期の成長ドライバーに位置付け

国際教育領域



グローバルスクール

- 錦糸町園、吉祥寺園(24年10月開園)、センター北園(25年4月開園)の3施設を展開
- バイリンガルの教育内容やカリキュラムを充実させ、充足率を高めることに尽力



海外留学支援

- 世界的な知名度を有するボーディングスクールや語学学校への短期留学コーディネーション。イギリス、スイス、アメリカ(ハワイ)で実施中



海外園運営

- 海外保育園のM&Aに向けて調査検討中。事業ポートフォリオ内でシナジーを生み、高い利益貢献が期待できる候補先を選別中



ネイチャーツーリズム

- 自然発見・自然体験など国内観光スポットでの親子インバウンドの受け入れ事業。国内大手企業とも連携し、地域創生および地方開発も推進

ファミリーサポート領域

建築デザイン



- ・コンセプト提案
- ・建築設計
- ・建築プロジェクト管理



- ・こどもの遊び場コンサルティング
- ・イベント運営

- 「家族の幸せ」と「個人の幸せ」が寄り添える社会の実現に向け、大人にも子どもにも体験価値を生み出す設計、デザイン、施工をプロデュース
- 担当チームは建築に関わる専門性、クリエイティブ力、マネジメント力に優れた人材で構成されており、「家族が集う」空間づくりに取り組み中
- 保育園を「作る」プロ、そして「使ってきた」プロとして蓄積したノウハウを活かし、デザイン、機能面だけでなく、運用面も含めた総合ソリューションを提供。街づくり全体に貢献することを目指す

※事業化に向けて調査検討中



旅行業(第1種旅行業登録)

- 第1種旅行業登録完了。海外留学支援も含め、より広く国内外の旅行業に進出可能に

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント 私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域：認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域：プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

7. 会社基本情報

- 会社概要
- ビジネスモデル&収益構造
- サービス概要 - 認可保育グループ
- サービス概要 - プレミアム教育グループ
- サービス概要 - 国際教育領域
- サービス概要 - 産後ケア領域
- 市場環境 - 国内教育領域(幼児教育事業)
- 市場環境 - 産後ケア領域
- 重要指標
- 競争力 - 非認知能力とは
- 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
- 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
- 競争力 - 多彩な教育プログラム
- 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
- 投資計画
- リスク情報

5-1. 中期経営計画2025数値計画

Smile Holdings

既存事業好調、新規事業開拓強化により計画は不変

産後ケア施設開設時期が変更になった一方、既存事業の好調、国際教育領域の強化、ファミリーサポート領域の創出により利益水準は維持

売上高

(単位:百万円)		2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	2027年3月期 中期経営計画	2028年3月期 中期経営計画	2029年3月期 中期経営計画	2030年3月期 中期経営計画	ポイント
合計		13,656	13,800	14,200	15,500	17,500	20,000	産後ケア施設開設が1年遅れる影響等より、売上高の達成は、現中期経営計画比1年後ろ倒しの計画に
国内教育領域	認可保育グループ	11,845	11,800	11,900	11,900	11,900	11,900	遅れる影響等より、売上高の達成は、現中期経営計画比1年後ろ倒しの計画に
	プレミアム教育グループ	1,679	1,700	1,750	1,800	1,850	1,850	
国際教育領域		132	200	350	550	800	900	計画比1年後ろ倒しの計画に
産後ケア領域		0	0	100	1,050	2,650	4,850	
ファミリーサポート領域		0	100	100	200	300	500	
現中期経営計画(合計)		12,900	13,580	15,290	17,130	19,400	22,000	

売上高は1年後ろ倒しで達成

営業利益

(単位:百万円)		2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	2027年3月期 中期経営計画	2028年3月期 中期経営計画	2029年3月期 中期経営計画	2030年3月期 中期経営計画	ポイント
合計		410	350	370	900	1,500	2,100	既存事業好調、国際教育領域強化、ファミリーサポート領域創出により、営業利益は、現中期経営計画の水準を維持(※詳細は次頁)
国内教育領域	認可保育グループ			1,370	1,370	1,370	1,370	遅れる影響等より、売上高の達成は、現中期経営計画比1年後ろ倒しの計画に
	プレミアム教育グループ			200	300	320	320	
国際教育領域				60	140	210	240	計画比1年後ろ倒しの計画に
産後ケア領域				-250	70	560	1,070	
ファミリーサポート領域				30	60	90	150	
本社管理費用		※2025年3月期実績、2026年3月期予想について、営業利益の内訳は非公開		-1,040	-1,040	-1,050	-1,050	
現中期経営計画(合計)		-100	220	350	884	1,450	2,100	

営業利益は計画通り達成

※2030年3月期の段階利益予想について、現中期経営計画は当期純利益まで開示しておりましたが、過去受領した開設補助金の影響等により、税制改正による将来的な変更分や税効果会計による調整額が大きくなることが見込まれております。よって、現時点で法人税額の想定が困難であるため予想を控えております。

5-2.中期経営計画2025数値計画 – 対現中期経営計画差分

Smile Holdings

高収益が見込める新規事業開拓促進、既存事業好調が下支え

既存事業の安定成長を維持しながら、高付加価値の新規事業開拓に経営資源を集中投入することにより、非連続的成長を目指す

売上高

(単位:百万円)		2025年3月期 実績	差分	2026年3月期 業績予想	差分	2027年3月期 中期経営計画	差分	2028年3月期 中期経営計画	差分	2029年3月期 中期経営計画	差分	2030年3月期 中期経営計画	差分
合計		13,656	+756	13,800	+220	14,200	-1,090	15,500	-1,630	17,500	-1,900	20,000	-2,000
国内教育領域	認可保育G	11,845	+725	11,800	+700	11,900	+800	11,900	+800	11,900	+800	11,900	+800
	プレミアム教育G	1,679	+49	1,700	+70	1,750	0	1,800	-50	1,850	-50	1,850	-50
国際教育領域		132	+42	200	-50	350	-90	550	-130	800	-100	900	-100
産後ケア領域		0	-60	0	-600	100	-1,900	1,050	-2,450	2,650	-2,850	4,850	-3,150
ファミリーサポート領域		0	0	100	+100	100	+100	200	+200	300	+300	500	+500

営業利益

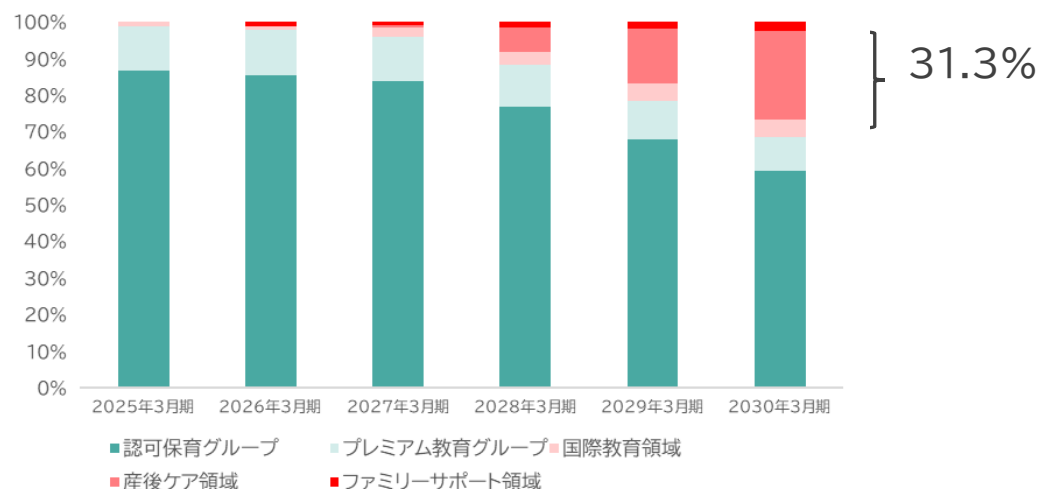
(単位:百万円)		2025年3月期 実績	差分	2026年3月期 業績予想	差分	2027年3月期 中期経営計画	差分	2028年3月期 中期経営計画	差分	2029年3月期 中期経営計画	差分	2030年3月期 中期経営計画	差分
合計		410	+510	350	+130	370	+20	900	+16	1,500	+50	2,100	0
国内教育領域	認可保育G					1,370	+470	1,370	+470	1,370	+470	1,370	+470
	プレミアム教育G					200	+160	300	+140	320	+100	320	+70
国際教育領域						60	+100	140	+116	210	+130	240	+90
産後ケア領域						-250	-700	70	-830	560	-840	1,070	-930
ファミリーサポート領域						30	+30	60	+60	90	+90	150	+150
本社管理費用						-1,040	-40	-1,040	+60	-1,050	+100	-1,050	+150

- 国内教育領域:認可保育G…足元の業績好調を受けて、中期業績予想を上方修正
- 国内教育領域:プレミアム教育G…2026年3月期より新園・麻布台ヒルズ園が売上高に計上見込み。充足率向上を前倒しで実施すること利益率上昇が加速する計画
- 国際教育領域…開設済グローバルスクールについては充足率向上に尽力。新規事業の取り組みや海外M&A等を積極的に推進することにより領域全体の利益率上昇を図る
- 産後ケア領域…事業開始時期の変更により、計画全体を再構成
- ファミリーサポート領域…建築デザイン開始による売上、営業利益の純増

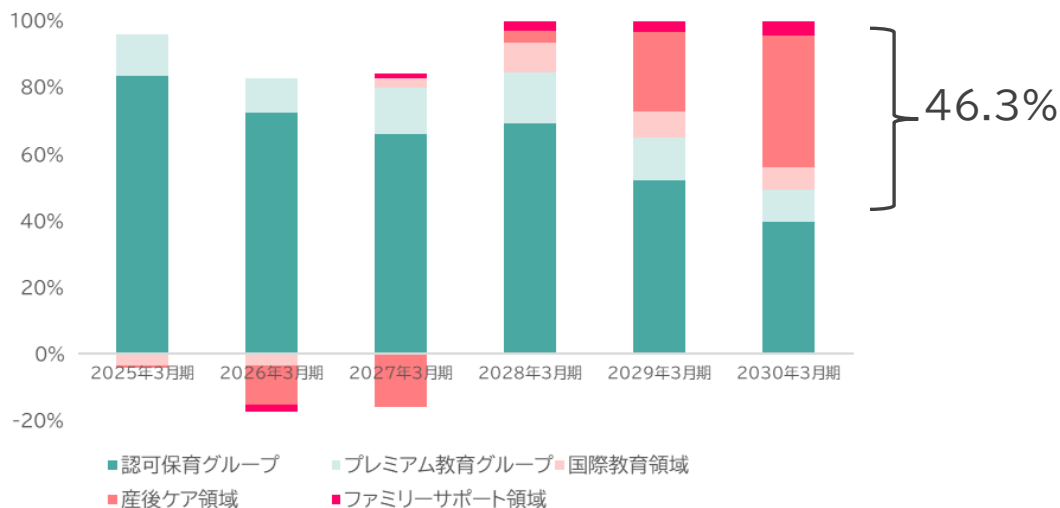
2030年3月期には新規事業が収益の柱に

安定収益が見込まれる事業から生じる利益を、成長市場である産後ケア領域、国際教育領域へ戦略的に再投資することで、2030年3月期の営業利益は21億円を見込む

売上高



営業利益



～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント 私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域：認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域：プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

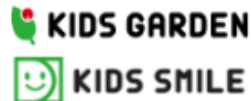
7. 会社基本情報

- 会社概要
- ビジネスモデル&収益構造
- サービス概要 - 認可保育グループ
- サービス概要 - プレミアム教育グループ
- サービス概要 - 国際教育領域
- サービス概要 - 産後ケア領域
- 市場環境 - 国内教育領域（幼児教育事業）
- 市場環境 - 産後ケア領域
- 重要指標
- 競争力 - 非認知能力とは
- 競争力 - 非認知能力育成教育プログラム
- 競争力 - 利用者視点による質の高いサービス
- 競争力 - 多彩な教育プログラム
- 競争力 - 専門集団とのパートナーシップ
- 投資計画
- リスク情報

6-1. 各事業領域の戦略 – 国内教育領域:認可保育グループ Smile Holdings

Smile Holdingsの基盤事業として、安定成長を目指す

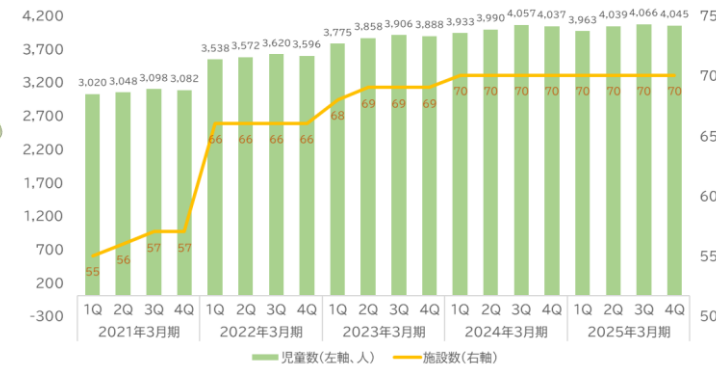
認可保育グループ…社会インフラとしての役割を担い国や自治体からの補助金を中心に運営する安定した事業



東京都・神奈川県・愛知県に認可保育所70園を運営(東京に63園)



園児充足率の高まりに応じ、在籍児童数が高水準で推移

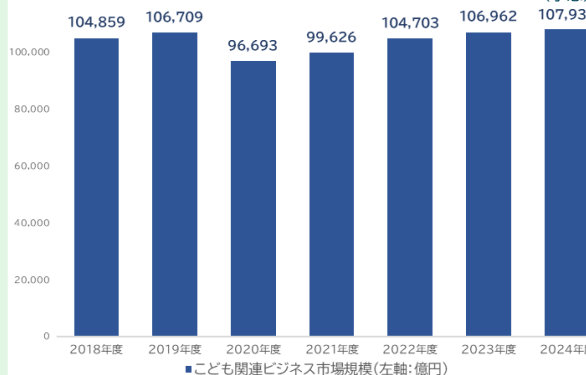


経営戦略:現在の施設数を維持しながら、保育サービスの質と安全性をさらに充実させることにより、既存施設の充足率向上を目指す

経営戦略のポイント

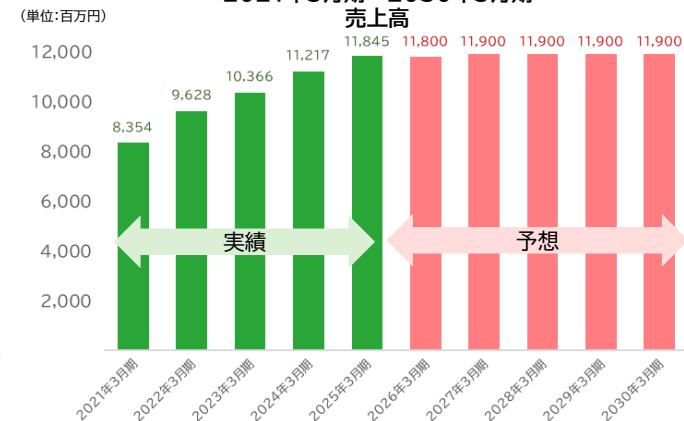
- Smile Holdingsの基盤事業として最重要視
- 施設数は現在の70園体制を維持
- 既存園の設備更新に取り組み、安全性や利便性を向上し、充足率の維持・向上を目指す
- 保育サービスの質を高める取り組みにより、園児・保護者満足度向上を図る

少子高齢化の一方、こども関連ビジネス市場規模(保育含む)は安定的に推移



出所:矢野経済研究所:こども関連ビジネス市場の市場規模推移

2021年3月期~2030年3月期



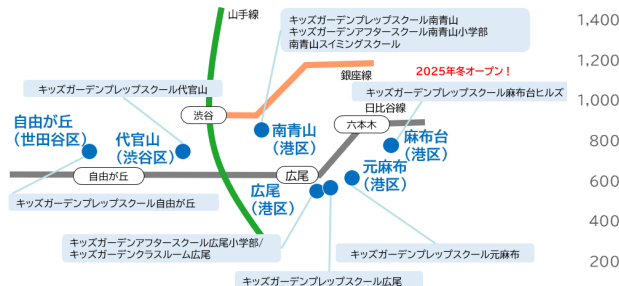
2025年冬、麻布台ヒルズ園オープン！新フラッグシップに

プレミアム教育グループ…上質な教育サービスを提供することにより、高い収益力を生み出す民間事業

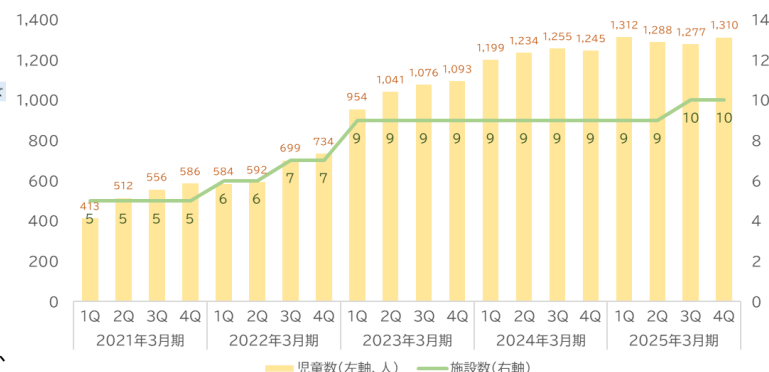
KIDS GARDEN KIDS GARDEN

PREP SCHOOL

CLASSROOM

南青山
スイミング
スクール教育感覚が高く、子どもへの教育投資に積極的な層が多い
東京都内エリア中心に開設ハイエンド向けプレスクー一体型保育所
ハイエンド向け学童施設、幼児教室、スイミングスクール、
運動/野外体験教室 等

集客強化と顧客単価上昇により堅調な成長



経営戦略:最高水準の教育レベルにより、満足度と充足率のさらなる向上を目指す

経営戦略のポイント

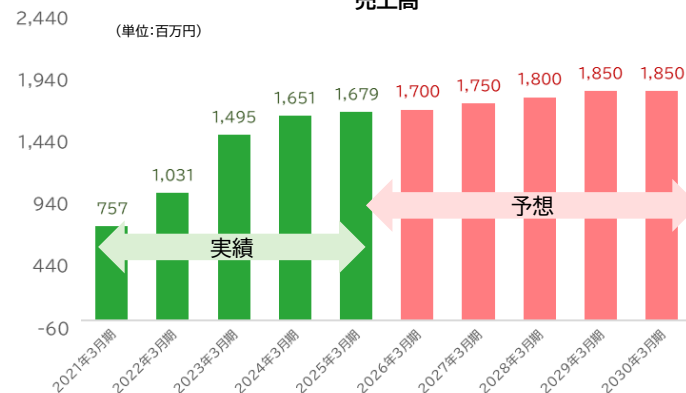
- スペシャルカスタマー向けの高付加価値な幼児教育を提供
- 新たなプログラム導入により、多様な教育ニーズに答える
- 研究機関、教育機関との連携を深め、新プログラム開発、実践を推進

教育的価値、体験価値を実現する為に、様々な教育プログラム・サービスを随時開発・導入

生涯能力を育む モンテッソーリ教育	トップアスリートトレーニングノウハウをベース 体操プログラム
幼稚園受験・小学校受験に対応 受験クラス	KITAJIMAQUATICS のプログラムを提供 水泳プログラム
ネイティブ講師による本格的な授業 英語プログラム	札幌市内、思いやり心を育む 空手プログラム
世界能力を高める そろばんタブレット学習	リズム感や記憶力、集中力の発達を促す ダンスプログラム
早稲田大学との共同研究による 理科実験・プログラミング・造形絵画	自然の中で学ぶ 野外体験プログラム
遊びを通して「ソーシャルスキル」を身に付ける チョイス・タイム・アクティビティ	想像力や好奇心を育む アート&クラフト

2025年冬、
キッズガーデンプレッブスクール麻布台ヒルズ
グランドオープン！0歳から9歳の
チテキソウゾウの
ぜんぶを。

森ビルが緑豊かなランドマークとして開発中の大型プロジェクト「麻布台ヒルズ」に、2025年冬、キッズガーデンプレッブスクール麻布台ヒルズがグランドオープン。キッズガーデン南青山のプレミアム性にグローバルスクールの国際性をプラス。新たなフラッグシップとして開設

2021年3月期～2030年3月期
売上高

新設投資計画(推計値):約3億円/施設

グローバルスクールの収益堅調、海外留学支援の初速好調

国際教育領域・・・グローバルスクールを中心としてインバウンド・アウトバウンド双方の需要を取り込むグローバル事業

国際教育事業領域ポートフォリオ



グローバルスクール 海外留学支援



海外園運営



ネイチャーツーリズム 旅行業(第1種旅行業登録)



グローバルスクール吉祥寺
2024年10月開園



グローバルスクール錦糸町
2023年4月開園



グローバルスクールセンター北
2025年4月開園



グローバルスクールの特長

- ◆ 英語と日本語のバイリンガル教育
- ◆ 多言語対応(日本語・英語・中国語)
- ◆ プレミアムラインの約半額の価格設定
- ◆ 多彩な幼児教育プログラム

海外留学支援

2024年夏、英国ボーディングスクールにて実施



2025年夏は英国、スイス、米国(ハワイ)にて実施

旅行業

(第1種旅行業登録)



第1種旅行業登録済。今後、お子様、保護者の皆様により広く留学支援や海外旅行サービスを提供

経営戦略:グローバルスクールの充足率向上を図りながら、海外留学支援の強化および海外園M&Aを積極検討

経営戦略のポイント

- グローバルスクール吉祥寺園が2024年10月、グローバルスクールセンター北園が2025年4月に開園し、錦糸町園と合計3園体制に。バイリンガル教育のカリキュラム充実により充足率向上を図る
- ボーディングスクール・語学学校留学を積極推進。今夏は英国、スイス、米国(ハワイ)で実施
- 海外保育園のM&A検討は引き続き積極的に実施中。事業ポートフォリオ内でシナジーを生み、高い利益貢献が期待できる候補を選別
- 第1種旅行業登録済。今後、海外留学支援も含め、より広く国内外の旅行業展開を推進

国内の海外教育に対する需要と海外の国内教育・体験に対する需要を事業化推進



海外留学支援



海外園運営



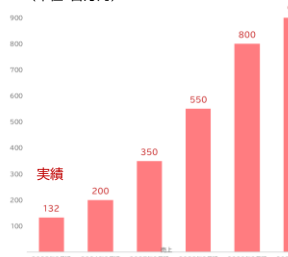
ネイチャーツーリズム

イギリス、スイス、アメリカ、シンガポールなど、その教育水準で世界的な知名度を有するボーディングスクールへの短期留学のコーディネート並びに本留学のサポート

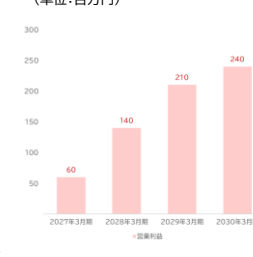
当社の理念と親和性を有する世界中の海外保育園のM&A等を検討。国内で培った保育ノウハウによりサービスレベルを向上させ高収益な園運営を目指す

自然発見・自然体験など国内観光スポットでの親子インバウンドの受け入れ事業。国内大手企業とも連携し、地域創生および地方開発も推進

2025年3月期～2030年3月期
国際教育事業売上高予想
(単位:百万円)



2027年3月期～2030年3月期
国際教育事業営業利益予想
(単位:百万円)



グローバルスクール新設投資(推定値):
約1.2～1.4億円/施設

6-4.各事業領域の戦略 – 産後ケア領域

Smile Holdings

2026年6月、産後ケアホテル“Villa Mom 東京・有明”開業決定！

産後ケア領域・・・産後ママの心と体をととのえる宿泊型産後ケア施設事業。世界的需要の高まりを背景に、市場創出・獲得を行う

“Villa Mom 東京・有明” 開業！



栄養バランスのとれた食事と質の高い睡眠をはじめ、これから始まる育児の日々の心を健康にみちびくマインドフルネスや、深い専門知識を有した助産師や経験豊富な保育士といったプロのスタッフによる育児指導や授乳指導など、24時間体制の親身なサポート提供

外部環境からの要請と、Smile Holdingsの事業優位性の融合

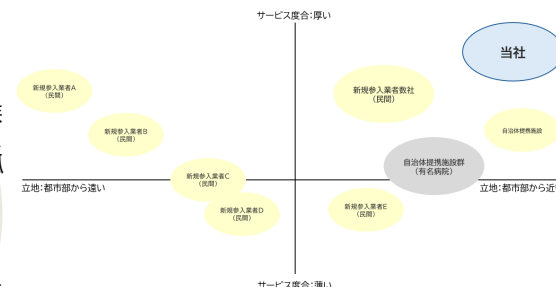
当社の強み

- ◆ 時代のニーズにマッチした新たな価値想像力
- ◆ 時代のニーズに対する対応力
- ◆ 確立された“KIDS GARDEN”ブランド
- ◆ 上質な幼児教育の提供実績
- ◆ 最上のホスピタリティサービスの構築経験
- ◆ ロイヤルカスタマーの獲得・維持

外部環境の要請

- ◆ 産後ママのメンタルヘルスクア:核家族化や出産年齢の高齢化を背景に、産後、身近な人からサポートを受けられず、孤独や不安を感じる状況
- ◆ 低い利用率:韓国では85.5%、台湾では62.46%の母親が利用する一方、日本においては、0.88%に留まる状況であり市場拡大が期待

ポジショニングマップ



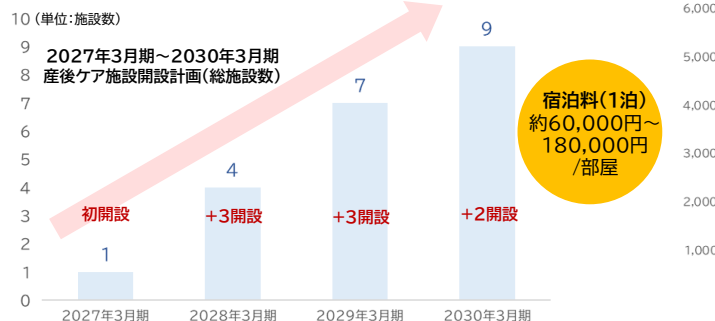
都市部での施設展開を行うと同時に、オーダーメイドの充実したサービス提供し、顧客満足度を最大化。民間による既存競合施設は郊外中心に展開。一方、都内中心部は病院が提供するサービスに限定されているのが現状

経営戦略:パートナー企業との共同開発も検討しながら、都心部マーケットにおいて強固な競争優位を築き全国展開へ

経営戦略のポイント

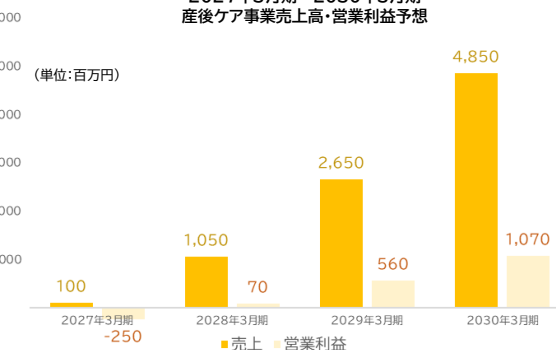
- 2026年6月に”産後ケアホテル Villa Mom(ヴィラママ) 東京・有明”を開業
- 幼児教育施設の運営を通して、のべ4万人以上のお子様やそのご家族と向き合ってきた経験を活かし、機微に富んだきめ細やかなサービスを提供
- 2施設目以降開発のため、全国都市部の優良物件を選別および交渉実施中
- 施設開発においてパートナー企業との連携を深め、施設開設を加速
- 中期の成長ドライバーに位置付け

東京都心を起点として、日本の主要都市中心部の市場獲得を目指す



自社開設のみにこだわらず、施設開発においては、パートナー企業との共同開発により、開設計画を加速化させていく

2027年3月期～2030年3月期
産後ケア事業売上高・営業利益予想



新設投資計画(推計値)

- 自社開発の場合、約5～8億円/施設
- パートナー企業との共同開発の場合、初期投資は5～8千万円の見込み(ただし、ランニングコスト増)

建築デザインを通じて家族が集う空間づくりへ取り組む

ファミリーサポート領域・・・家族と個人の幸せが寄り添うお手伝いをする事業。建築デザインでその場を提供します。

建築デザインとは



- ・コンセプト提案
- ・建築設計
- ・建築プロジェクト管理



- ・こどもの遊び場コンサルティング
- ・イベント運営

●保育園を「作る」プロとして

私たちは16年間で80園以上の保育園を作り、子ども達やご家族の皆さんが安心・安全にわくわく過ごせる空間を作ってきました。デザイン面および機能面に優れた設計ノウハウを保育園のみならず、子ども達とその家族が関わるすべての空間に応用してまいります。

●保育園を「使ってきた」プロとして

私たちの強みは、「作る」のみでなく、「使ってきた」ことです。日々6,000人以上の子どもたちをお預かりする中で、運用面についての数多くのノウハウを蓄積して参りました。私たちはその提供するソリューションで、各施設の運用方法に留まることなく、その施設の中で具体的にどのようなコンテンツを作り、提供することが個人と家族の幸せが寄り添う最高の満足感につながるかを考え、空間づくりに取り組みます。

●「作る」「使う」の経験を活かし、街づくりの一翼を担う

私たちは「作る」「使う」の経験を活かし、デザインや機能性に優れた施設の企画、実現および、コンテンツ面も含めた運用方法まで総合提案することを目指し、施設の枠を越えて、「街づくり」に貢献してまいります。

経営戦略:保育園を「作る」&「使う」プロとして、個人と家族の課題解決型ソリューションを提供

経営戦略のポイント

- 事業化にむけて調査・検討中
- 建築に関わる専門性、クリエイティブ力、マネジメント力を備えたチームを編成
- 保育園を「作る」プロ、そして、「使ってきた」プロとして蓄積したノウハウを活かし、デザイン、機能面だけでなく、運用面も含めた総合ソリューションを提供。街づくり全体に貢献することを目指す

子ども達のための保育園づくりから



プロジェクト例

- クリニック
- 歯科医院
- 空港(キッズスペース)
- レストラン(キッズスペース)
- その他、家族が集まる場所全般

専門家チーム組成

専門性

わたしたちは毎日6,000人以上の子どもたちをお預かりする中で、日々の気づきや小さな機微を空間づくりに活かしてきました。子どもたちの“わくわく”や“感動”を起点に、人々の幸せが集う環境をデザインできるという、誰にも真似できない専門性がわたしたちにはあります

子どもたちの感性を育てるプログラムをつくってきたわたしたちには、空間とコンテンツを合わせてデザインする力があります。機能性や安全性の実現と共に、そこに在るだけでわくわくするような体験価値の醸成も設計の重要ピースとして組み立てていきます。

クリエイティブ力

マネジメント力

16年で80以上の開園を手がけてきた私たちは、企画・設計から引き渡しまで、関わるすべてのパートナーと連携しながら、スムーズで安心できるプロジェクト進行をお約束します

家族が集う空間づくりへ

～事業計画及び成長可能性に関する事項～

1. 新パーパス、新ステートメント

- 1-1. 新パーパス、新ステートメント 私たちの想い
- 1-2. 社名

2. これまでの歩み

- 2-1. 財務指標の振り返り
- 2-2. 期初予想に対する進捗
- 2-3. 現中期経営計画に対する進捗

3. 外部環境の変化

- 3-1. 待機児童問題の解消
- 3-2. 女性の労働力人口増加
- 3-3. 少子化社会の深刻化

4. Smile Holdingsの挑戦

- 4-1. 変わらぬ社会課題
- 4-2. 事業領域の拡大
- 4-3. 各領域の成長戦略サマリー

5. 中期経営計画2025数値計画

- 5-1. 全体像
- 5-2. 対現中期経営計画差分
- 5-3. 新規事業の成長予測

6. 各事業領域の戦略

- 6-1. 国内教育領域：認可保育グループ
- 6-2. 国内教育領域：プレミアム教育グループ
- 6-3. 国際教育領域
- 6-4. 産後ケア領域
- 6-5. ファミリーサポート領域

7. 会社基本情報

会社概要

ビジネスモデル&収益構造

サービス概要 - 認可保育グループ

サービス概要 - プレミアム教育グループ

サービス概要 - 国際教育領域

サービス概要 - 産後ケア領域

市場環境 - 国内教育領域(幼児教育事業)

市場環境 - 産後ケア領域

重要指標

競争力 - 非認知能力とは

競争力 - 非認知能力育成教育プログラム

競争力 - 利用者視点による質の高いサービス

競争力 - 多彩な教育プログラム

競争力 - 専門集団とのパートナーシップ

投資計画

リスク情報

7.会社基本情報 - 会社概要

Smile Holdings

会社概要

社名	株式会社Smile Holdings
設立	2018年4月2日
所在地	東京都品川区西五反田1-3-8
資本金	606,134千円（2025年3月末現在）
連結子会社	株式会社Smile Project（100%子会社）
当社グループの主な事業内容	認可保育所の運営 認可外保育施設・幼児教室・学童施設 スイミングスクールの運営 ※東京を中心に80施設運営（2025年3月現在） 幼児教育教材開発・販売等
上場市場	東京証券取引所グロース（証券コード：7084）
従業員数	連結：1,705名（2025年3月末現在） ※パート・契約社員含む



代表取締役社長 中西正文

1995年 早稲田大学法学部卒業
株式会社博報堂入社

2008年 株式会社Kids Smile Project 設立
代表取締役社長就任

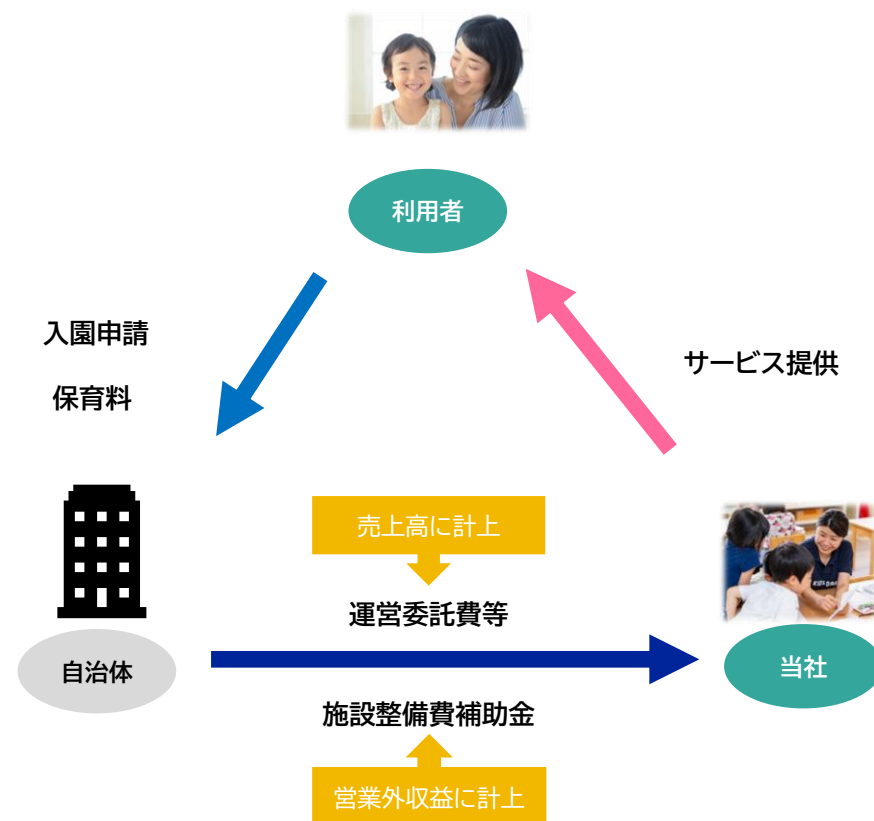
2018年 株式会社Kids Smile Holdings 設立
代表取締役社長就任（現任）

2023年 株式会社Kids Smile Project
代表取締役会長就任（現任）

ビジネスモデルおよび収益構造

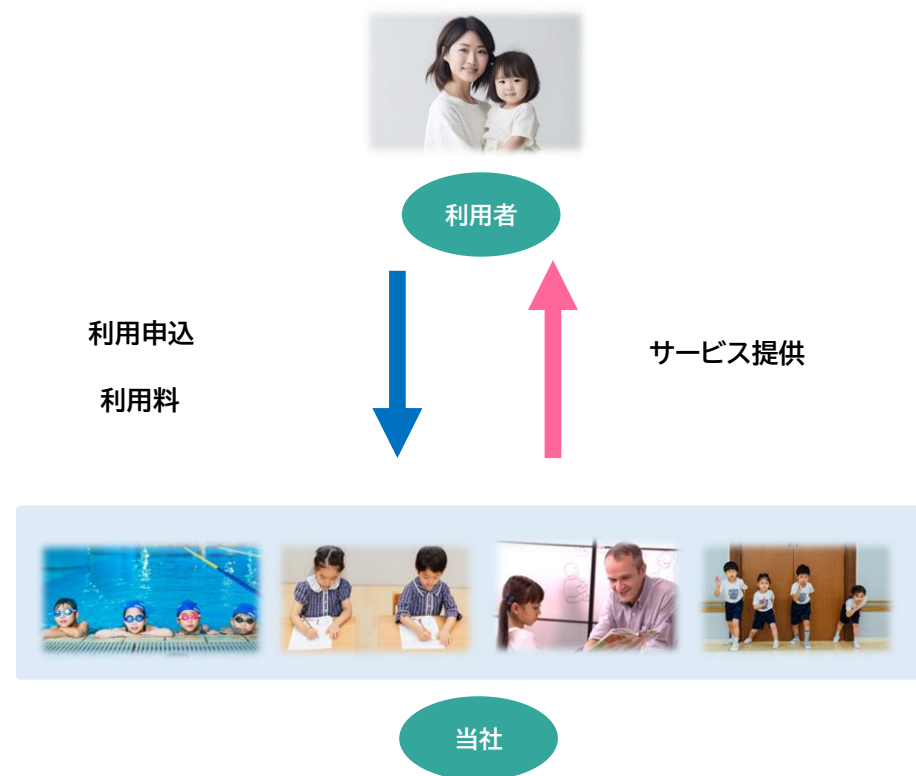
認可保育所

社会インフラとしての役割を担い国や自治体からの**補助金**を中心に運営する安定した事業



プレミアム教育サービス(グローバルスクール含む)

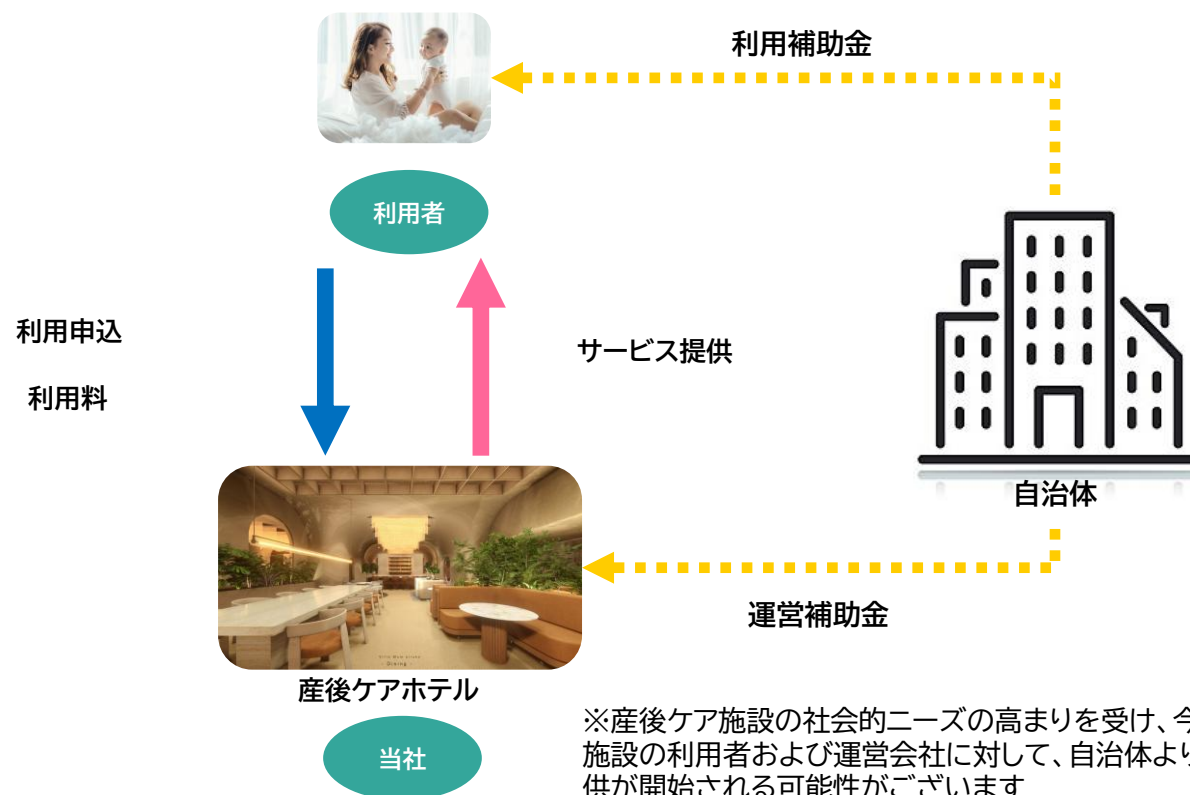
上質な教育サービスを提供する事で高い収益力を生み出す民間事業。
利用者からの利用料で運営



ビジネスモデルおよび収益構造

産後ケアホテルサービス

産後ママの心と体をととのえる宿泊型産後ケア施設。**利用者からの利用料**で運営。
ただし今後自治体からの補助金対象になる可能性あり



サービス概要 - 認可保育グループ

- 社会インフラとして認可保育所の運営

- 今後の方針

待機児童が減少してきた中で、利用者の方が『選びたくなる保育園』を目指す

- 当社施設の強み

- ① 保育ニーズが高い東京都・横浜市・川崎市・名古屋市に展開
- ② 非認知能力を育成するオリジナルプログラム「KID'S PREP. PROGRAM」の全園への展開
- ③ 利用者の安全性・利便性の向上

熱中症対策アドバイザーを全園に配置、おむつサブスクを全園に導入、ICTの活用など

- ④ 保育の質向上への取り組み

不適切保育のマニュアル・対応フローの整備、本社と各園の園長で構成する

「不適切保育撲滅委員会」を設置など

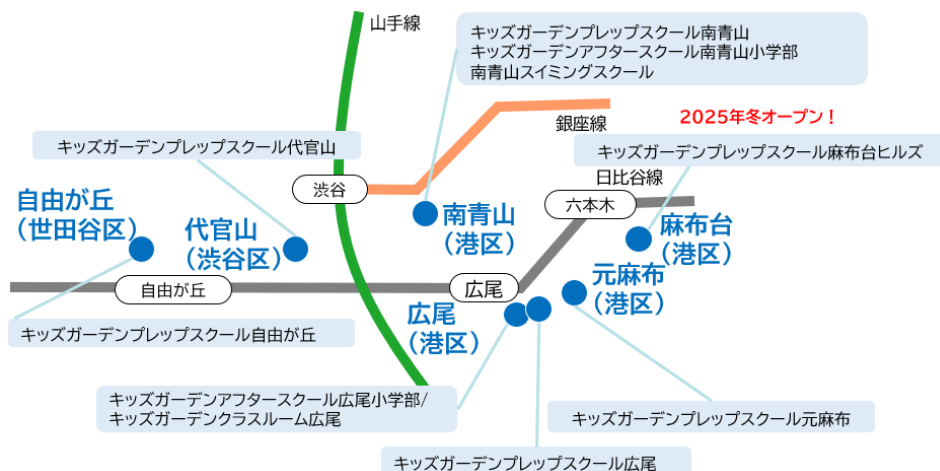


7.会社基本情報 - サービス概要 - プレミアム教育グループ

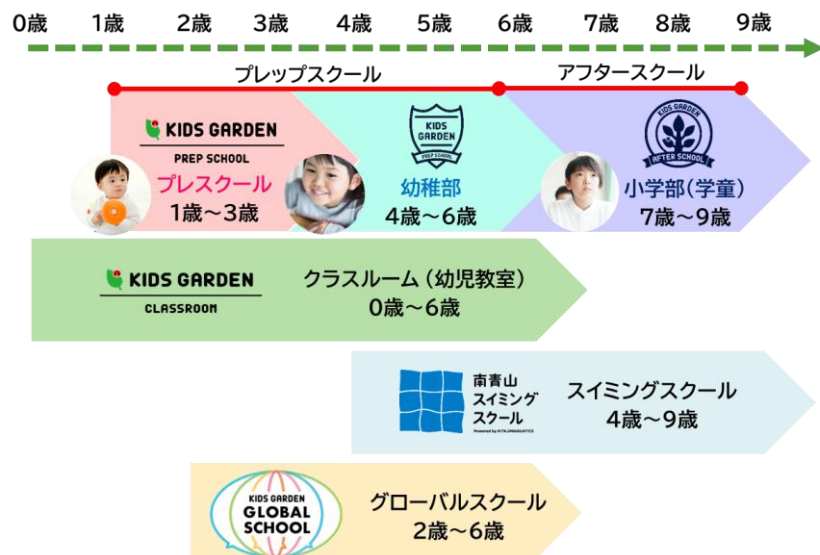
Smile Holdings

サービス概要 - プレミアム教育グループ

教育感度が高く、子どもへの教育投資に積極的な層が多い東京都内エリア中心に開設



0歳～9歳の児童を対象に様々なカリキュラムを準備



プレップスクール(教育特化型保育施設) & 幼児教室

KIDS GARDEN
PREP SCHOOL CLASSROOM

プレミアム教育サービスのメインコース

- 自由が丘・広尾・元麻布・代官山・南青山で展開
- 2021年10月
1歳～9歳を対象とした都内最大級の大規模教育施設「キッズガーデン南青山」開設

アフタースクール(高付加価値学童)

2021年4月
学童領域へ進出

- 広尾・南青山の2施設で展開
- 宿題対応などの一般的な学童サービスに加えて、多様な教育サービスを提供する高付加価値学童施設

スイミングスクール

南青山
スイミング
スクール
KITAJIMAQUATICS

2022年4月
スイミングスクール領域へ進出

- 南青山スイミングスクール開設
- 金メダリスト 北島康介氏の株式会社IMPRINTと提携
- ハイエンド向けの高収益型スイミングスクール

多彩な教育プログラム・サービスの開発・導入のために、各分野の専門集団との連携を構築

【主な専門講師】

- モンテッソーリ講師
(国際ディプロマ取得者)
- 空手講師(極真空手)
- ダンス講師(プロダンサー)
- 体操講師(体育大学出身)
- 英語講師(ネイティブ講師)



『KITAJIMAQUATICS』の
子ども向け水泳プログラムの導入



早稲田大学 共同研究プロジェクト

現役・元教授による理科実験・プログラ
ミング・造形絵画のレッスン提供



東証プライム上場

ヒューリック株式会社

新規事業の検討・開設において
大手不動産会社 ヒューリック社
と業務提携

7.会社基本情報 – サービス概要 – 国際教育領域

サービス概要 – グローバルスクール

プレミアムライン(自由が丘・広尾・元麻布・代官山・南青山)で培った幼児教育の知識とサービススキル、認可保育所の運営から得た様々な経験とノウハウといった当社グループの強みに、「バイリンガル教育」という新たな魅力をプラスした保育施設をプレミアム教育のセカンドラインとして展開中

グローバルスクールの特長

- プレミアムラインの幼児教育のノウハウ
- 認可保育所の標準化した運営ノウハウ

- 英語と日本語のバイリンガル教育
- 多言語対応(日本語・英語・中国語)
- プレミアムラインの約半額の価格設定



Smile Holdings

2023年4月

キッズガーデン初、英語と日本語のバイリンガル保育園「グローバルスクール錦糸町」開園



2024年10月

英語と日本語のバイリンガル保育園の第2園目となる「グローバルスクール吉祥寺」開園



2025年4月

英語と日本語のバイリンガル保育園の第3園目となる「グローバルスクールセンター北」開園



2026年6月、産後ケアホテル“Villa Mom 東京・有明”開業

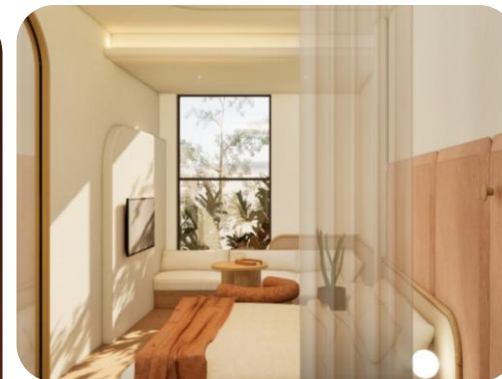


産 後 ケ ア ホ テ ル



Villa Mom

Order made postpartum care for mom and baby.



- 名称: 産後ケアホテルVilla Mom(ヴィラママ) 東京・有明
- 所在地: 東京都江東区有明1丁目
- 部屋数: 17室
- 敷地面積: 1,524.01㎡
- 公式サイト: <https://villamom.com/>

出産後ママに対する心身ケアを通じた社会課題の解決

産後のお母様の心身の疲れや負担、育児の不安や疑問を軽減・解消し、これから始まる新しい生活を前向きな気持ちで過ごしていけるようにサポートすることを目的とする宿泊型産後ケア施設



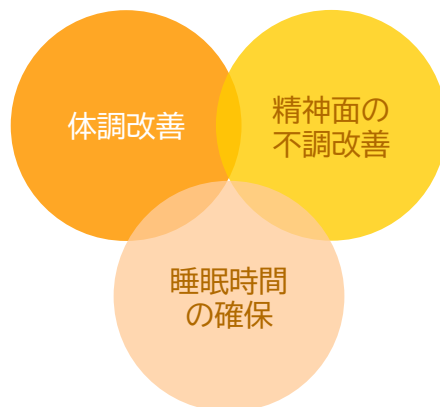
昔	現在	新たな社会課題・ニーズ
母乳で育てるのが当たり前 (ミルクだと免疫力が弱くなるという根拠のない考え方)	ミルクを多用	・気持ち的に無理をしたくない ・体はできるだけ負担をかけたくない
通常出産が当たり前 (痛みを知ってこそ母親という価値観)	無痛分娩や計画分娩 (出産方法の多様化)	・出産前後はゆっくり身体を休めたい
3歳までは付きっきりで子育てが当たり前 (愛着がなくなるという認識)	夫婦共働きがほとんど 0歳から保育園に預ける	・親の高齢化 ・近所で頼る人がいない ・核家族化 ・孤独を感じやすい ・初産が高齢出産(35歳以上)が珍しくない ・女性の社会進出
実家で里帰り出産が当たり前 (3世代、地域で子育てが普通の価値観)	自宅で療養	・産むことへの不安⇒産まない選択
専業主婦が当たり前 (良い教育のために母親は専業主婦になるのが当たり前)	共働き	・少子化

このような現在の社会課題を産後ケア施設で解決を目指す

産後ママ、ベビー、家族のケアを同時に手厚く実施

- 産後ママへのケア
 - － 体調管理・健康チェック・栄養指導
 - － 乳房ケア・骨盤ケア
 - － 睡眠時間の確保・回復のための休息サポート・精神面のケア・心身リフレッシュ(マッサージなど)
 - － 沐浴指導・授乳指導・搾乳指導・育児相談・ミルク、抱っこ、オムツ替えの指導
- 生まれたてベビーのケア
 - － 体調管理・健康チェック・体重測定・生活リズム作り(お昼寝管理など)
- 家族へのケア
 - － コミュニティー機会の創出
 - － 育児への関わり方等のアドバイス

産後ママの3大お悩みを解決



7.会社基本情報 – 市場環境 – 国内教育領域(幼児教育事業) Smile Holdings

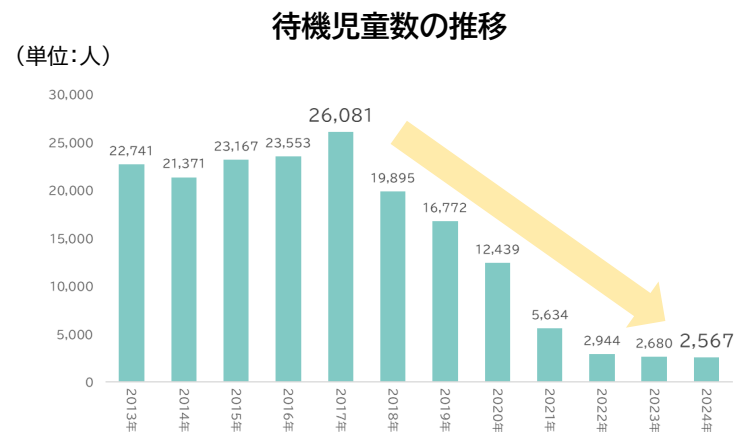
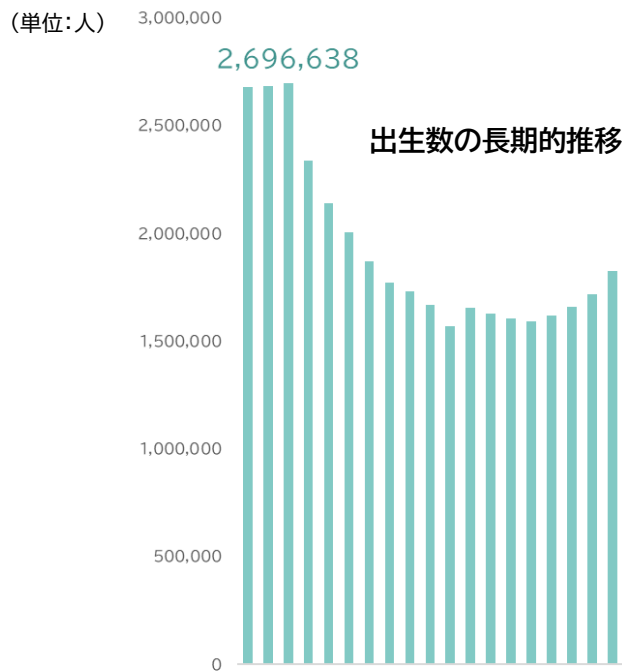
市場環境:待機児童問題がほぼ解決+少子化の深刻化

認可保育所

- 政府の施策は、施設整備などハードを中心とした支援から、保育士の待遇改善などソフト面の支援へと移行
- 待機児童問題がほぼ解消した今、サービスの内容・質が問われる時代であり、保育事業者の**選ばれる力**が必要

プレミアム教育サービス(グローバルスクール含む)

- 政府の「異次元の少子化対策」により現金給付が増加することにより、可処分所得が増加。教育意識の高い家庭を対象とした、高付加価値な民間教育に追い風
- 子ども一人あたりにかける教育費が増大する中、専門的および多様なプログラムに対するニーズが拡大
- バイリンガル教育をはじめ、国際的な経験を提供するサービスに対する需要増

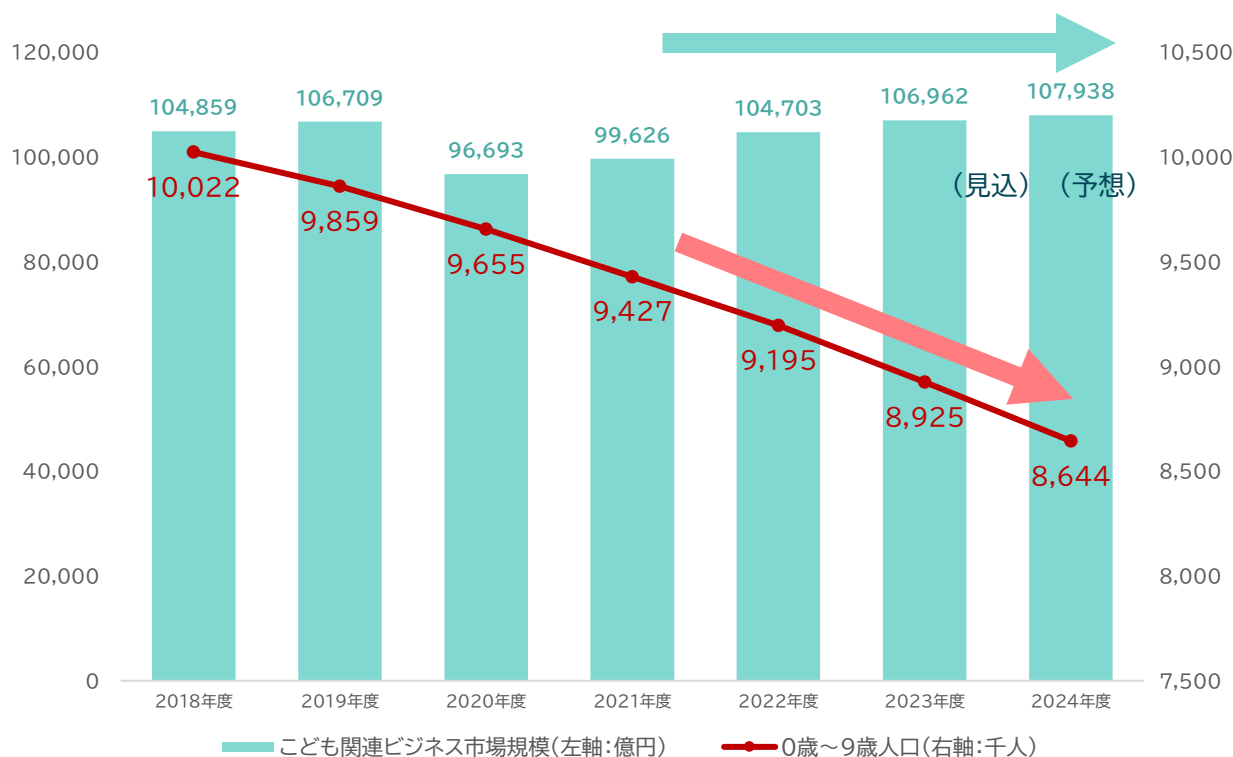


出所:こども家庭庁待機児童数調査

7.会社基本情報 – 市場環境 – 国内教育領域(幼児教育事業) Smile Holdings

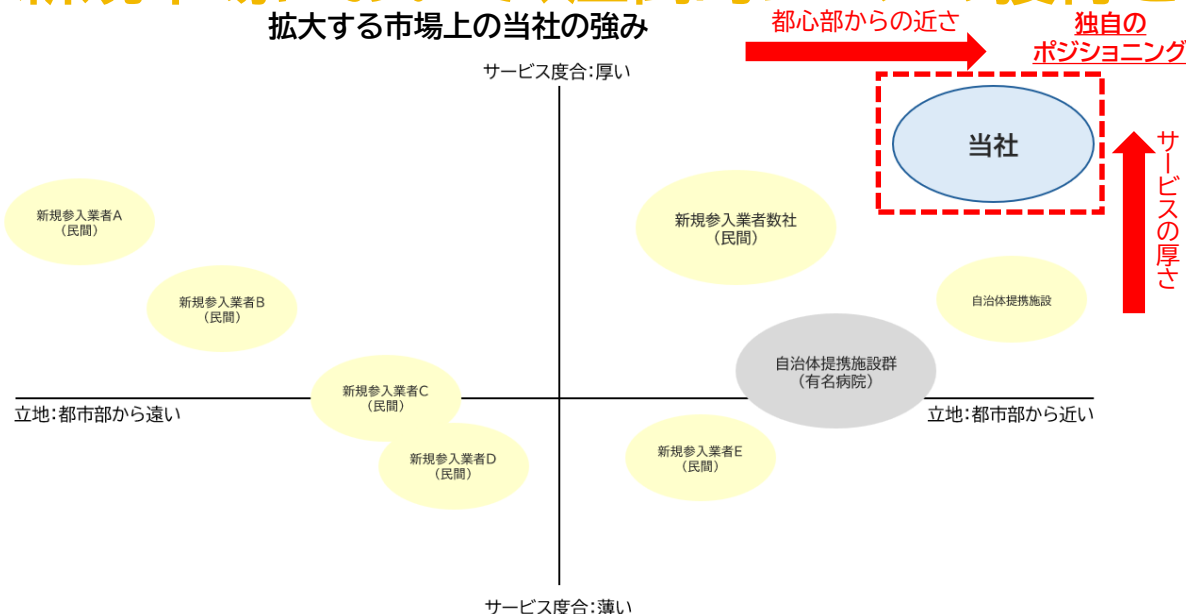
こども関連ビジネス市場規模：0歳～9歳児は減少し続ける一方で、

こども関連ビジネス市場規模は安定的に推移 → 成長可能性は顕在



出所:矢野経済研究所:こども関連ビジネス市場の市場規模推移
総務省統計局人口推計(推計含む)

拡大基調にある新規市場において、圧倒的シェアの獲得を目指す



行政の産後ケア事業の現状

母子健康法の一部改正によって、産後ケア事業は、2021年4月から市町村における事業実施が努力義務化された。行政における産後ケア事業の多くが、産科医療機関や助産所で行われているが、こうした施設の確保が難しいと考えている市町村も多い。

産後ケア後進国である日本

産後ケアサービスが既に普及している中国・台湾・韓国が産後ケア先進国ならば、日本は産後ケア後進国といえる。韓国、台湾では出生率が1.0に満たないがそれと反比例して産後ケアの利用率は高い。そのことから日本での今後の普及について伸びしろが高いことが伺える。日本では出産を取り巻く環境は大きく変わったり、医療も進化を遂げていく一方、いわゆる“昔ながら”な産後の過ごし方は過去から変化が見られない。これは、日本の産後の過ごし方についての課題である。

民間企業の参入と市場の拡大

行政をめぐる状況を背景として、宿泊施設を改装した産後ケアホテルのオープンや、ホテルの一部客室を産後ケアに利用したりするなどの新規参入がみられる。全国的に開設の兆しは見え始め、日本でもマタニティケア市場が順調に拡大している。マタニティケアの中でも、産後サービスは最も急速に成長するセグメントになると予想されている。

宿泊型産後ケアのパイオニアを目指す

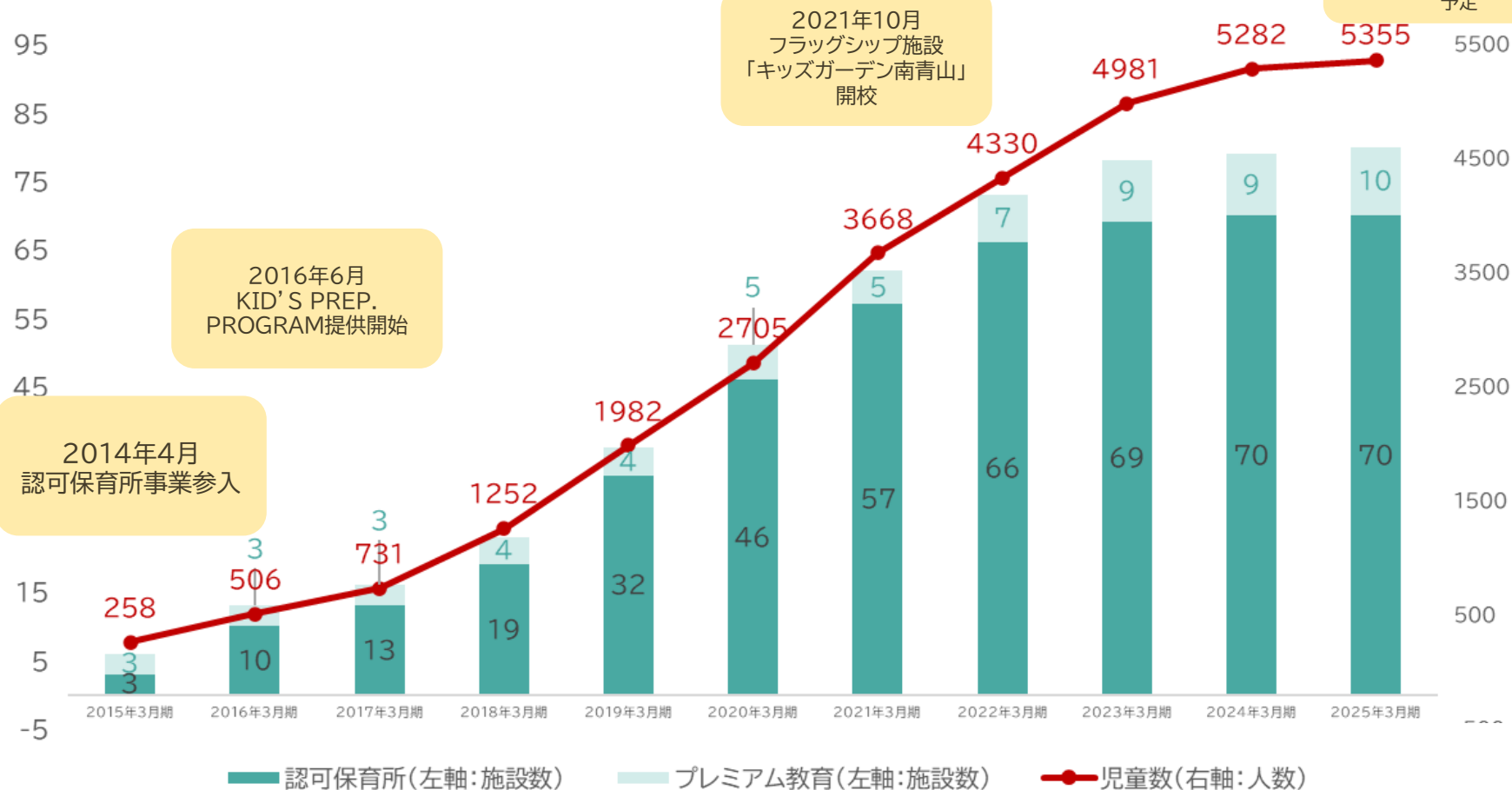
プレミアムスクール開業・運営を通じて、我々は①上質な幼児教育の提供実績、②高いホスピタリティサービス、③ロイヤルカスタマーの存在、④子どもの教育を通じたご家族との信頼関係構築実績を有している。この競争優位を宿泊型産後ケアサービスの展開に活かす戦略を採用。

7.会社基本情報 – 重要指標

Smile Holdings

運営施設数および在籍児童数の推移

施設充実とサービス向上を同時に行い顧客満足の最大化を常に追求。結果在籍児童数は増加の一途



2024年10月
バイリンガル保育園「キッズ
ガーデン グローバルスクー
ル吉祥寺」開校

2025年4月
バイリンガル保育園「キッズ
ガーデン グローバルスクー
ルセンター北」開校

2023年4月
バイリンガル保育園「キッズ
ガーデン グローバルスクー
ル錦糸町」開校

Coming Soon!!!
2025年冬
フラッグシップ施設「キッズ
ガーデン麻布台ヒルズ」開校
予定

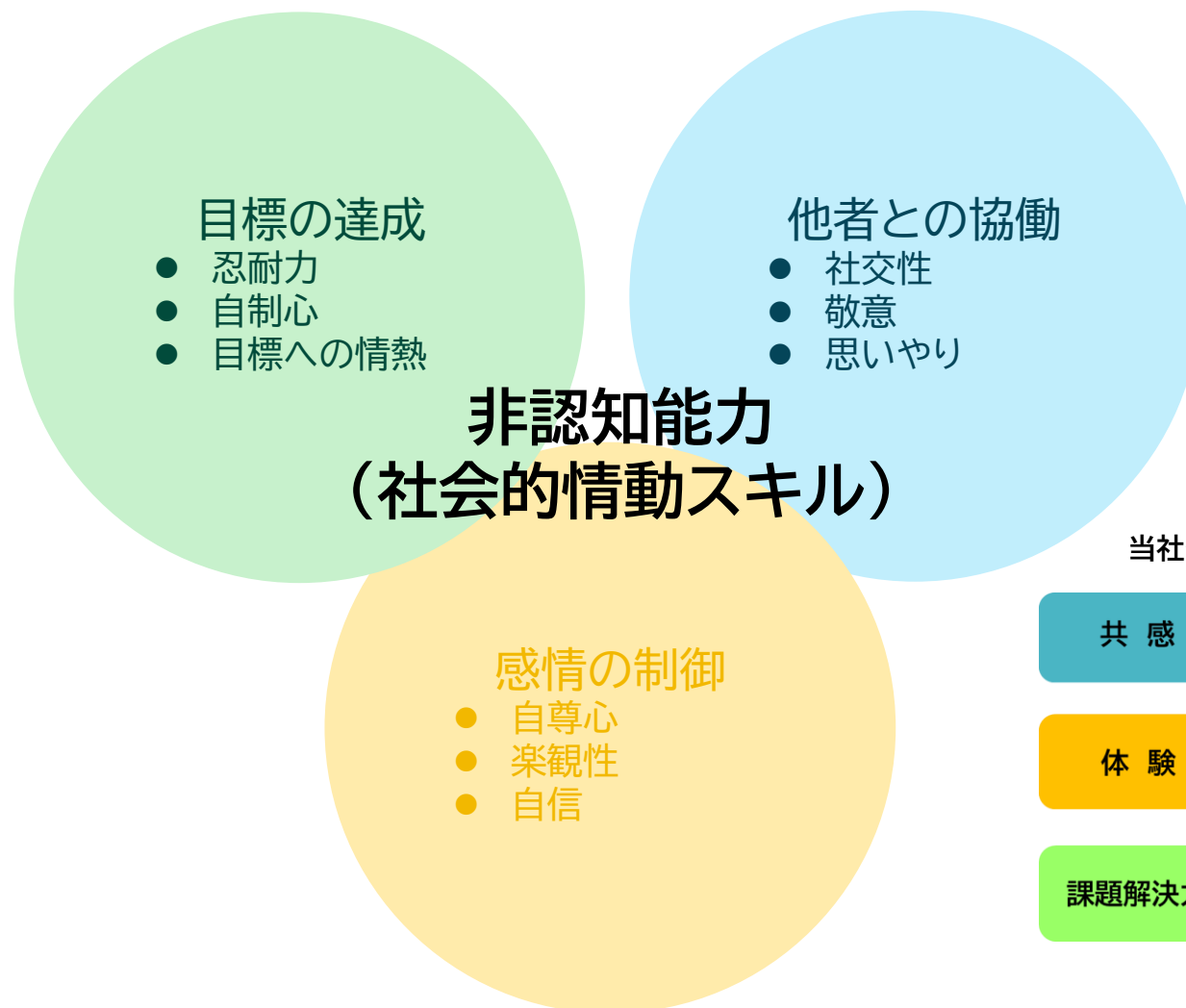
2021年10月
フラッグシップ施設
「キッズガーデン南青山」
開校

2016年6月
KID'S PREP.
PROGRAM提供開始

2014年4月
認可保育所事業参入

非認知能力とは

OECD(経済協力開発機構)は、21世紀社会の課題に対処し機会を活かしていくために必要なスキルとして社会的情動スキルを提起し、子どもがそのスキルを身に付けていくために、家庭、学校、地域社会の学習環境が重要であるとしています。これらのスキルは非認知能力として世界で注目されています



当社グループが育む幼児期の「非認知能力」

共感

- 相手の気持ちを正しく理解し、自分の気持ちを伝える事ができるコミュニケーション力の基礎をつくる。

体験

- 好奇心、探究心を持って積極的に物事に取り組むことで、達成感を育む。その達成感を更なる好奇心・探求心へと繋げていく体験を重ねる。

課題解決力

- 正解が一つではない問いに対して、自ら考え、答えを導き出す。

7.会社基本情報 – 競争力 – 非認知能力育成教育プログラム Smile Holdings

非認知能力の育成を重視した教育プログラム

子どもの非認知能力を育むことを目的として、世界で評価されたプログラムに加え、オリジナル教育プログラムを開発し、提供しています

KID'S PREP. PROGRAM

当社グループが有するオリジナルの教育プログラムです。

見る・聞く・話す・考える・行うの5つの力をバランス良く伸ばし、「自立」「自主性」「想像力」の心を育みます。



モンテッソーリ教育

各界のリーダーを数多く育てた教育法で、子どもの自主性や集中力を高め、自信と品格育みます。

国際資格を持つ講師が、子どもの知的好奇心を育む手助けをします。



幼稚園・小学校受験クラス

幼稚園、小学校の受験では非認知能力が重視されます。

そのため、幼児期に必要な非認知能力を高める取り組みを行い、受験に向けての基礎を身につけます。



創業以来、利用者の視点に立ち、期待とニーズに応えることで培った 高いサービスレベル

- 利用者の気持ちに寄り添った丁寧な対応と信頼に応える運営
- 質の高い教育と充実したカリキュラム
- 利便性が高い予約ルールとシステム
 - 保育の予約も振替も前日正午まで可能
 - スマホ・PCで予約完結
- 子どもの成長を実感できるサービス
 - オンラインによる連絡帳や成長記録の配信
 - プロカメラマンによるイベント撮影
- 安全で美味しい給食提供
 - こだわりの食材や調味料
- 家庭で楽しめる映像配信
 - 保育参観や発表会、行事のオンライン配信
 - オンラインによる保護者面談の実施



教育的価値、体験価値を実現する為に、様々な教育プログラムを開発

教育的価値、体験価値を実現する為に、様々な教育プログラム・サービスを開発・導入

教育的価値

0歳から9歳までの一貫した幼児教育を通じて、10歳以降必要となる「自ら学ぶ力」の土台をつくる教育の機会を提供



オリジナルプログラム
KID'S PREP. PROGRAM

非認知能力を育む
モンテッソーリ教育

幼稚園受験・小学校受験に対応
受験クラス

ネイティブ講師による年齢別の授業
英語プログラム

計算能力を高める
そろばんタブレット学習

早稲田大学との共同研究による
理科実験・プログラミング・造形絵画

遊びを通して「ソーシャルスキル」を身に付ける
チョイス・タイム・アクティビティ

体験価値

キッズガーデンブランドのプログラムやサービスを通して、子ども達には様々な体験の場を、ご家族の方にはその成長を実感できる体験の機会を提供



トップアスリートトレーニングのノウハウがベース
体操プログラム

KITAJIMAQUATICS のプログラムを提供
水泳プログラム

礼儀作法、思いやりの心を育む
空手プログラム

リズム感や記憶力、集中力の発達を促す
ダンスプログラム

自然の中で学ぶ
野外体験プログラム

想像力&好奇心を育む
アート&クラフト

その他、多数の専門講師を配置。本格的なレッスンを実践

7.会社基本情報 – 競争力 – 専門集団とのパートナーシップ Smile Holdings

多彩な教育プログラム・サービスの開発のため専門集団との連携構築

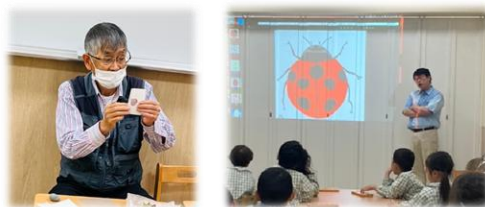


『KITAJIMA AQUATICS』の
子ども向け水泳プログラムの導入



早稲田大学
共同研究プロジェクト

現役・元教授による理科実験・プログラ
ミング・造形絵画のレッスン提供



 ヒューリック株式会社

新規事業の検討・開設において、大手不
動産会社ヒューリック社と業務提携



主な専門講師

- モンテッソーリ講師
(国際ディプロマ取得者)
- 空手講師(極真空手)
- ダンス講師(プロダンサー)
- 体操講師(体育大学出身)
- 英語講師(ネイティブ講師)



7.会社基本情報 – 投資計画

Smile Holdings

国内教育領域

認可保育事業

新設投資計画(推計値):なし

- 認可保育所の新設計画について、現時点
はなし
- 必要に応じて修繕実施

プレミアム教育事業

新設投資計画(推計値):約3億円/施設

- 2025年冬開園の麻布台ヒルズ園に対する設備
投資は順次実行中
- 既存園の充足率、満足度を高めるためのリニュー
アル投資を計画

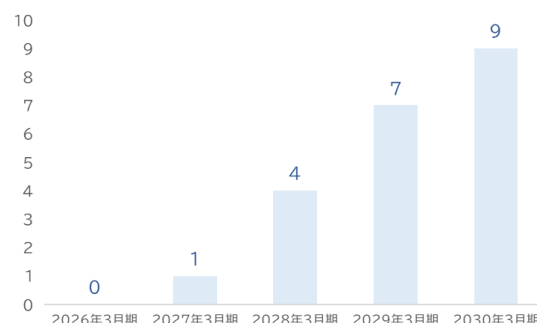
産後ケア領域

新設投資計画(推計値):約5～8億円/施設

※業務提携先との共同開発の場合、約5～8千万円/施設

- 2026年6月開設”Villa Mom
東京・有明”に関しては本格的に
投資開始
- 投資総額は1施設あたり約5～8
億円となる見込み
- 主に内装設備工事費、初期備品、
敷金・礼金等
- スピード感のある事業展開のため、業務提携先との共同開発を
積極検討。その場合、初期投資額
は約5～8千万円になる見込み

2026年3月期～2030年3月期
産後ケア施設開設計画(施設数)



国際教育領域

新設投資計画(推定値):約1.2～1.4億円/施設

- グローバルスクールの新設は、1施設あたり約
1.2～1.4億円が必要となる見込み
- 主に内装設備工事費、初期備品、敷金・礼金等
- 留学支援事業は初期投資は発生なし
- 海外園買収資金については、財務安全性を毀損
しない範囲で金融機関より調達予定



ファミリーサポート領域

新設投資計画(推計値):なし

- 現時点では事業化に向けて、調査・検討中であるが投資計画はなし
- 事業化検討の調査のため、複数の外部専門家を招致予定であり、そのための
費用は数千万円を予定



(注記)

- 投資計画の見込みは現在入手できる情報より合理的に算定した推定値であり、今後の事業状況や経済・社会
情勢の変動により、金額が変更にある可能性があります。
- 開園計画も各事業の進捗により、高収益事業に集中投資等により変更になる可能性があります。
- 施設数が同数であって、計画している施設規模により投資額が異なります。

資金調達手段

- ① 自己資金・・・2025年3月末時点で46億円の現金及び預金保有
- ② デットファイナンス・・・従来より実施。メインバンクとも良好な関係維持
- ③ エクイティファイナンス・・・事業の進捗より選択肢の一つとして検討余地あり

7.会社基本情報 – リスク情報

以下には、成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクについて記載しています。その他のリスクにつきましては、有価証券報告書「事業等のリスク」をご参照ください

事業環境に係るリスク	リスクの概要	顕在化可能性	影響度	対応方針
子育て支援における国や自治体の方針変更や関連法令等の改正等	当社グループが現在運営する事業は、児童福祉法、子ども・子育て支援法、こども基本法及び食品衛生法等の法規制が存在します。 国や自治体の方針が変更され、補助金の削減や株式会社による保育所の開設が制限される場合、又は、関連法令の制定・改廃が行われた場合、当社グループの事業活動が制約を受け、業績に影響を与える可能性があります。	大	大	昨今の情勢を鑑み、将来的に国や自治体の方針変更等により補助金が減少するリスクを見込んだ収支計画を作成し、施設運営を実施します。 同時に、各自治体との連携を深め、適切に運営を続けるとともに、民間教育サービスや新規事業の拡大を図り、よりリスクの分散・低減に努めていきます。
人材の確保及びその育成について	運営施設数の増加に伴い、認可・認可外保育所・産後ケア施設の運営の為に資格を有する保育士・助産師・看護師や指導員・スタッフ及び各施設開設に合わせた本部要員およびその他専門職員の確保と育成が重要となっております。しかしながら、予定した職員数が確保できない場合、新規施設開校計画の遅延や既存施設の運営計画に支障が生じた場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	中	大	当社グループでは、以前より採用活動を強化しておりましたが、さらに外部専門家の助言等を受けながら、採用戦略の見直し、人事部門の強化、社員紹介制度の構築、人材紹介会社からの紹介強化等を実施しております。また教育研修制度や人事評価制度の充実を進め、人材確保と離職率の低下に向けた取り組みを行っております。
食の安全性について	各施設の園児に対して、必要な栄養量が確保できるように献立を作成し、各施設にて調理・提供しております。しかしながら、何らかの理由により食の安全に関する重大な事故が発生した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	小	中	職員に対して継続的に指導を行うことにより、食品衛生法に基づいた食材管理及び衛生管理を実施し、食中毒や賞味期限切れ食材の使用、異物混入等の事故を起こさないよう日々努力しております。
運営施設における事故について	運営施設において、重大な事故やトラブルが発生した場合には、行政処分による営業停止や園児の転園等により、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	小	中	事故防止及び事故発生時のマニュアルに基づき、重大な事故・怪我の防止策を講じた上で運営しています。
大規模災害について	大規模災害に発生により児童や従業員、施設の建物が被害を受けた場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	小	大	職員・園児に対しては大規模災害時の対応マニュアルについて日々指示・指導するとともに、安全確認アプリ等を利用して災害発生時の安否確認を迅速に行える体制を実施しております。またBCP(事業継続計画)の作成等の対策を実施していきます。

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点における情報に基づき判断したものであり、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。
- 実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご承知おきください。
- 事業計画及び成長可能性に関する事項の進捗を含む最新の開示について、次回は、2026年6月を予定しています。